

# 安曇野市の財政状況

令和3年4月1日から同年9月30日までの期間における財政状況及び令和2年度の決算状況

財政部財政課

## 目 次

1	歳入歳出の執行状況等	
(1)	予算概要	
ア	令和3年度一般会計予算の概要	1
イ	令和3年度一般会計補正予算(第1号)の概要等	10
ウ	令和3年度一般会計補正予算(専決第1号)の概要等	14
エ	令和3年度一般会計補正予算(第2号)の概要等	17
オ	令和3年度一般会計補正予算(第3号)の概要等	21
カ	令和3年度一般会計補正予算(第4号)の概要等	24
キ	令和3年度一般会計補正予算(第5号)の概要等	32
(2)	予算執行状況	
ア	会計別予算執行状況	37
イ	一般会計予算の執行状況	38
ウ	地方交付税・財政指数の状況	40
2	財産、地方債の状況	
(1)	基金現在高見込み	42
(2)	地方債現在高見込み	43
3	公営企業の業務状況(令和3年4月から令和3年9月まで)	44
4	令和2年度決算状況	
(1)	普通会計の決算状況	
ア	地方財政状況調査(決算統計)	54
イ	地方財政状況調査対象会計の状況	54
ウ	地方財政状況調査等による普通会計の決算状況	55
エ	普通会計決算額等の推移の状況	60
(2)	健全化判断比率の推移	66
(3)	令和2年度安曇野市上下水道事業 決算の概要	67

## 令和3年度 一般会計予算の概要

### ① 予算編成の基本方針

#### 【基本方針の考え方】

令和3年度は、市役所本庁舎建設以来の大型建設事業となる新総合体育館の竣工を迎え、令和2年度に完成した新ごみ処理施設の建設と合わせ、新規大型施設への投資的基盤が大方、完了する年であります。そのため、ソフト事業に主眼をシフトしつつ、安曇野市が目指す将来都市像の実現に向け、確固たる財政基盤を継続することが必要となります。

令和3年度の予算編成においては、新型コロナウイルス感染症による内外経済への不安要素があるなか、基金財源の継続的確保など、持続可能な財政基盤を確保しつつ、安曇野市の魅力を最大限発揮し得る効果的な予算編成を実施する必要があります。

こうしたなか、予算編成にあたっては、第2次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業成果や数値的目標の達成を目指すなか、職員一人ひとりが創意工夫を持って貴重な財源の有効活用を図り、第2次総合計画に掲げる将来都市像「北アルプスに生まれ 共に響きあう 田園産業都市 安曇野」の創生に向けて全力を傾けることとします。

### ② 予算の総額

令和3年度当初予算額 4 1 1 億円  
(内、借換債分 5 億 5, 6 4 0 万円)

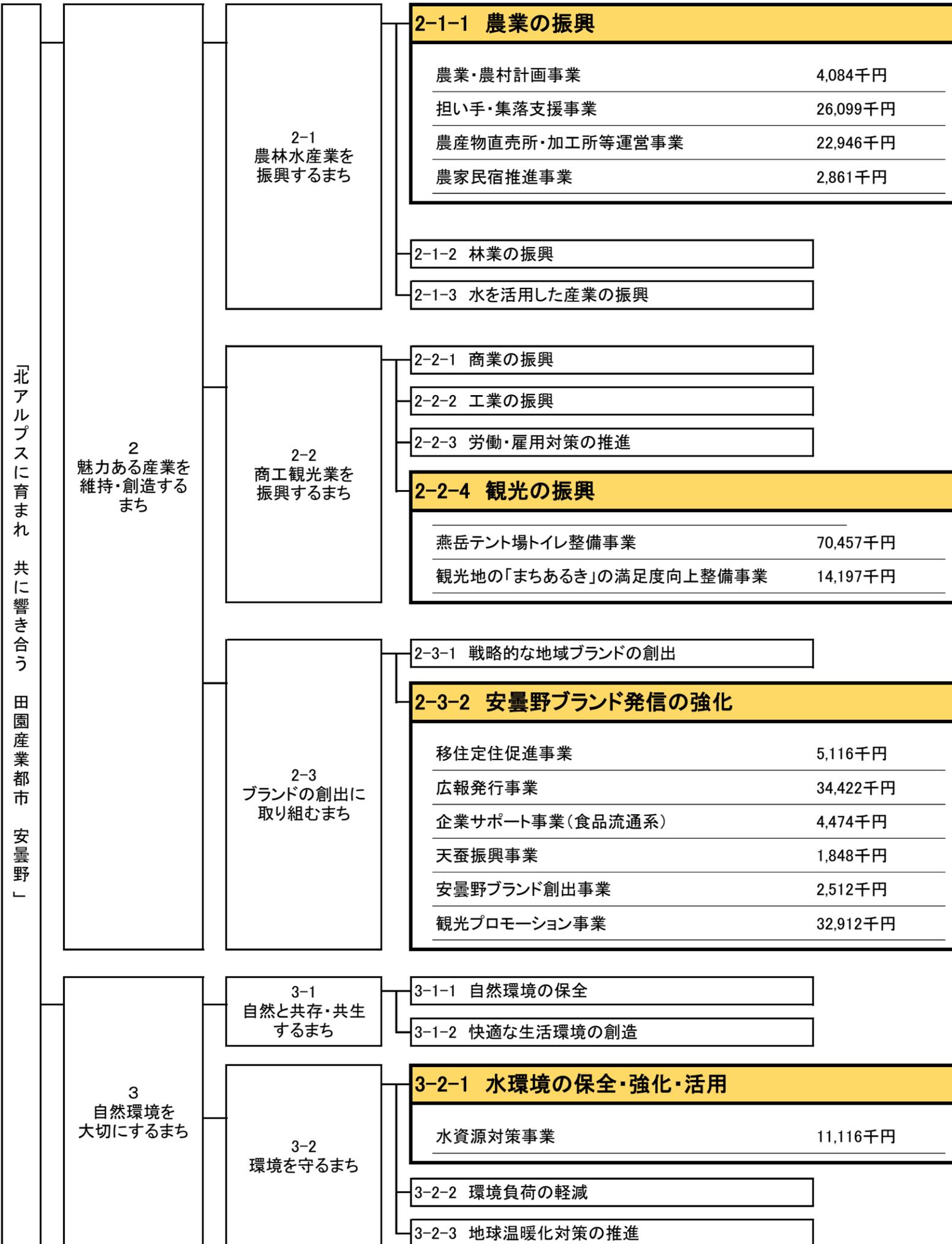
令和2年度当初予算額 4 2 1 億 8, 0 0 0 万円

対前年度 1 0 億 8, 0 0 0 万円減  
(2.6%減)

### ③ 令和3年度重点事業

「実施計画(2021-2023)策定方針」において示された「重点化施策」及びその推進のための手段となる「重点事業」は次のとおりです。

基本構想		前期基本計画									
将来都市像	基本目標	基本方針	基本施策（着色部分はR3年度の重点化施策）								
北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野	計画の実現に向けて	基本計画の推進に 当たっての経営方針	方針1 協働によるまちづくりの推進								
			方針2 広報・広聴の充実								
			方針3 地域情報化の推進								
			<b>方針4 質の高い行政経営の推進</b>								
			<table border="1"> <tr> <td>行財政改革大綱・実施計画進行管理事業</td> <td>126千円</td> </tr> <tr> <td>公共施設管理方針調整事業</td> <td>188千円</td> </tr> <tr> <td>総合計画等策定事業</td> <td>210千円</td> </tr> <tr> <td>ファインビュー室山改修事業(運営事業)</td> <td>27,115千円</td> </tr> <tr> <td>ほりで一ゆ〜改修事業(運営事業)</td> <td>59,850千円</td> </tr> </table>	行財政改革大綱・実施計画進行管理事業	126千円	公共施設管理方針調整事業	188千円	総合計画等策定事業	210千円	ファインビュー室山改修事業(運営事業)	27,115千円
	行財政改革大綱・実施計画進行管理事業	126千円									
	公共施設管理方針調整事業	188千円									
	総合計画等策定事業	210千円									
	ファインビュー室山改修事業(運営事業)	27,115千円									
	ほりで一ゆ〜改修事業(運営事業)	59,850千円									
		方針5 健全財政の堅持									
1 いきいきと健康に 暮らせるまち	1-1 健康を大切にす るまち	1-1-1 <b>健康づくりの推進</b>	自転車活用推進事業 3,193千円								
			ひきこもり対応推進事業 7,533千円								
			福祉医療費給付事業 615,457千円								
			健康増進事業 14,831千円								
			特定健康診査等事業費 ※特別会計事業 228,049千円								
			一般介護予防事業 ※特別会計事業 20,170千円								
			1-1-2 地域医療の充実								
	1-2 一人ひとりが大切 にされるまち	1-2-1 <b>高齢者福祉の充実</b>	健康増進事業 14,831千円								
			特定健康診査等事業費 ※特別会計事業 228,049千円								
			一般介護予防事業 ※特別会計事業 20,170千円								
1-2-2 障がい者福祉の充実											
1-2-3 生活困窮者への支援											
		1-2-4 人権の尊重									
1-3 安心して暮らせる まち	1-3-1 地域福祉の推進	1-3-1 地域福祉の推進									
		<b>1-3-2 出産・子育て支援の充実</b>									
		<table border="1"> <tr> <td>三郷西部認定こども園建設事業</td> <td>237,385千円</td> </tr> <tr> <td>三郷東部認定こども園建設事業</td> <td>279千円</td> </tr> <tr> <td>小規模保育施設整備事業</td> <td>44,500千円</td> </tr> <tr> <td>穂高北部児童館整備事業</td> <td>385,550千円</td> </tr> </table>	三郷西部認定こども園建設事業	237,385千円	三郷東部認定こども園建設事業	279千円	小規模保育施設整備事業	44,500千円	穂高北部児童館整備事業	385,550千円	
三郷西部認定こども園建設事業	237,385千円										
三郷東部認定こども園建設事業	279千円										
小規模保育施設整備事業	44,500千円										
穂高北部児童館整備事業	385,550千円										



「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」

4  
安全・安心で  
快適なまち

4-1  
災害に強いまち

**4-1-1 防災体制の充実**

防災組織支援事業	5,670千円
住宅・建築物耐震改修促進事業	21,950千円

4-1-2 消防・救急体制の充実

4-1-3 治山・治水事業の推進

4-2  
事件・事故を防ぐ  
まち

4-2-1 防犯・交通安全の推進

4-2-2 消費者保護の推進

4-3  
住みやすさを感じる  
まち

**4-3-1 秩序あるまちづくりの推進**

空家等対策事業	23,532千円
都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	392,153千円

4-3-2 景観の保全と育成の推進

4-3-3 良質な住環境の整備

4-3-4 安定した水道・下水道事業の運営

**4-3-5 移住・定住の促進**

移住定住促進事業	5,116千円
空家等対策事業	23,532千円
ごみ減量化推進事業	6,403千円
しごと創出事業	30,701千円
企業サポート事業(工業系)	20,805千円

4-4  
利便性の高いまち

4-4-1 道路整備の推進

4-4-2 公共交通の充実

「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」

5  
学び合い 人と文化を育むまち

5-1  
子どもが健やかに育つまち

5-1-1 学校教育の充実	
コミュニティスクール事業	7,935千円
小学校情報教育推進事業	132,611千円
中学校情報教育推進事業	45,643千円
学校給食費会計公会計化事業	1,879千円

5-1-2 青少年の健全育成

5-2  
生涯を通じて学び合うまち

5-2-1 生涯学習の推進	
芸術教育普及事業	4,275千円
中央公民館事業	36,653千円

5-2-2 スポーツ活動の充実	
自転車活用推進事業	3,193千円
新総合体育館建設事業	107,831千円
新総合体育館備品調達事業	139,888千円
市道新設改良事業(サイクリングコース整備)	30,000千円
スポーツ教室等開催事業	8,298千円
聖火リレー実施運営事業費	5,139千円
豊科南部総合公園管理運営事業	41,482千円

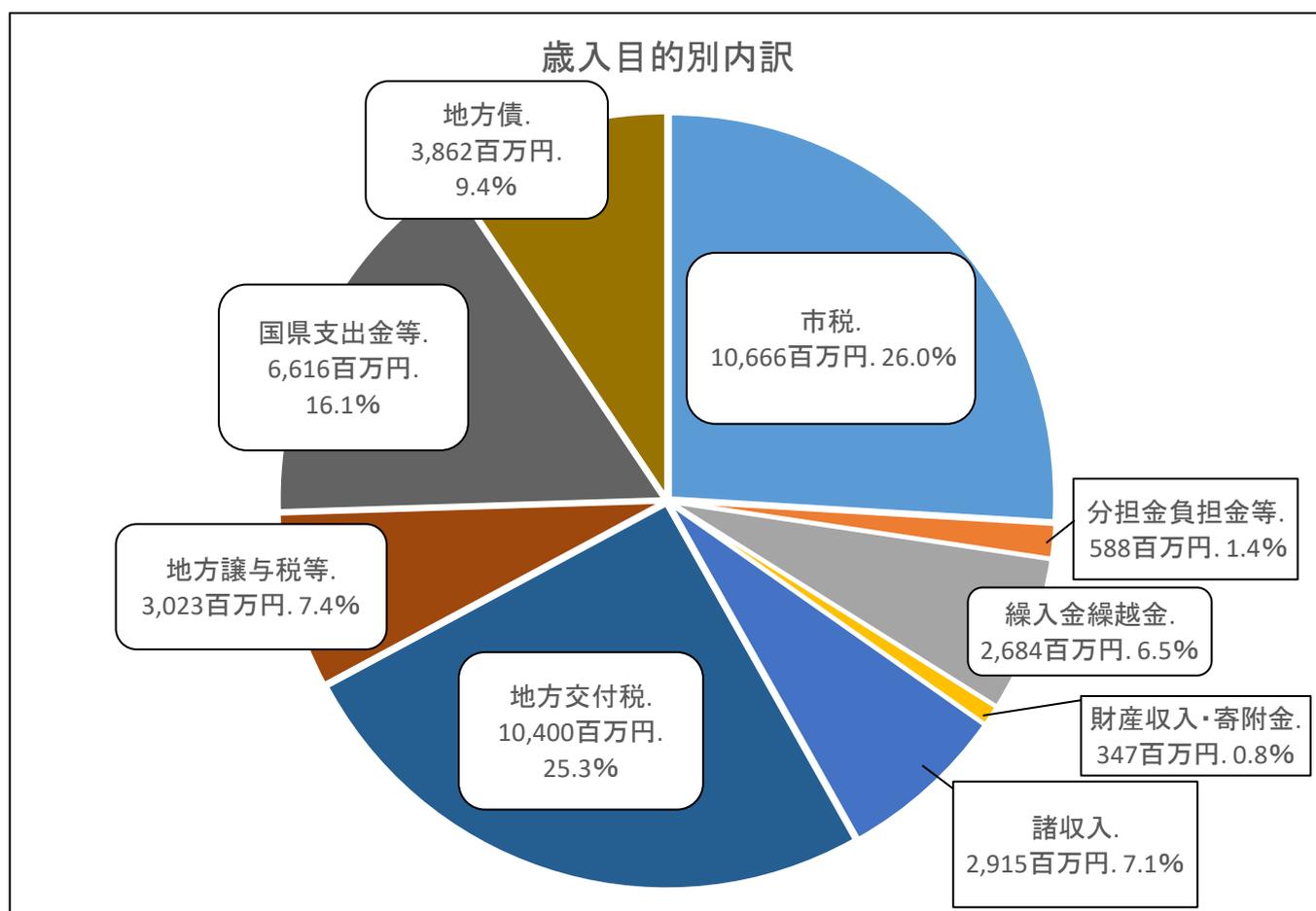
5-3  
文化を創り育むまち

5-3-1 芸術文化活動の推進

5-3-2 交流活動の推進	
ホストタウン推進事業	7,735千円

# 歳入

款	歳入項目	令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	増減(千円)	増減率(%)
01	市税	10,666,366	11,747,053	△1,080,687	△9.2
02	地方譲与税	471,564	514,564	△43,000	△8.4
03	利子割交付金	7,000	10,000	△3,000	△30.0
04	配当割交付金	45,000	37,000	8,000	21.6
05	株式等譲渡所得割交付金	51,000	18,000	33,000	183.3
06	法人事業税交付金	112,000	112,000	0	0.0
07	地方消費税交付金	2,022,000	2,085,000	△63,000	△3.0
08	ゴルフ場利用税交付金	32,000	36,000	△4,000	△11.1
09	環境性能割交付金	35,000	42,000	△7,000	△16.7
10	地方特例交付金	247,000	99,800	147,200	147.5
11	地方交付税	10,400,000	10,250,000	150,000	1.5
12	交通安全対策特別交付金	12,880	13,600	△720	△5.3
13	分担金及び負担金	283,215	291,213	△7,998	△2.7
14	使用料及び手数料	304,314	319,418	△15,104	△4.7
15	国庫支出金	4,162,084	4,357,570	△195,486	△4.5
16	県支出金	2,440,604	2,412,999	27,605	1.1
17	財産収入	42,369	50,729	△8,360	△16.5
18	寄附金	305,002	300,002	5,000	1.7
19	繰入金	2,633,534	1,947,587	685,947	35.2
20	繰越金	50,000	50,000	0	0.0
21	諸収入	2,915,268	1,374,565	1,540,703	112.1
22	市債	3,861,800	6,110,900	△2,249,100	△36.8
	計	41,100,000	42,180,000	△1,080,000	△2.6

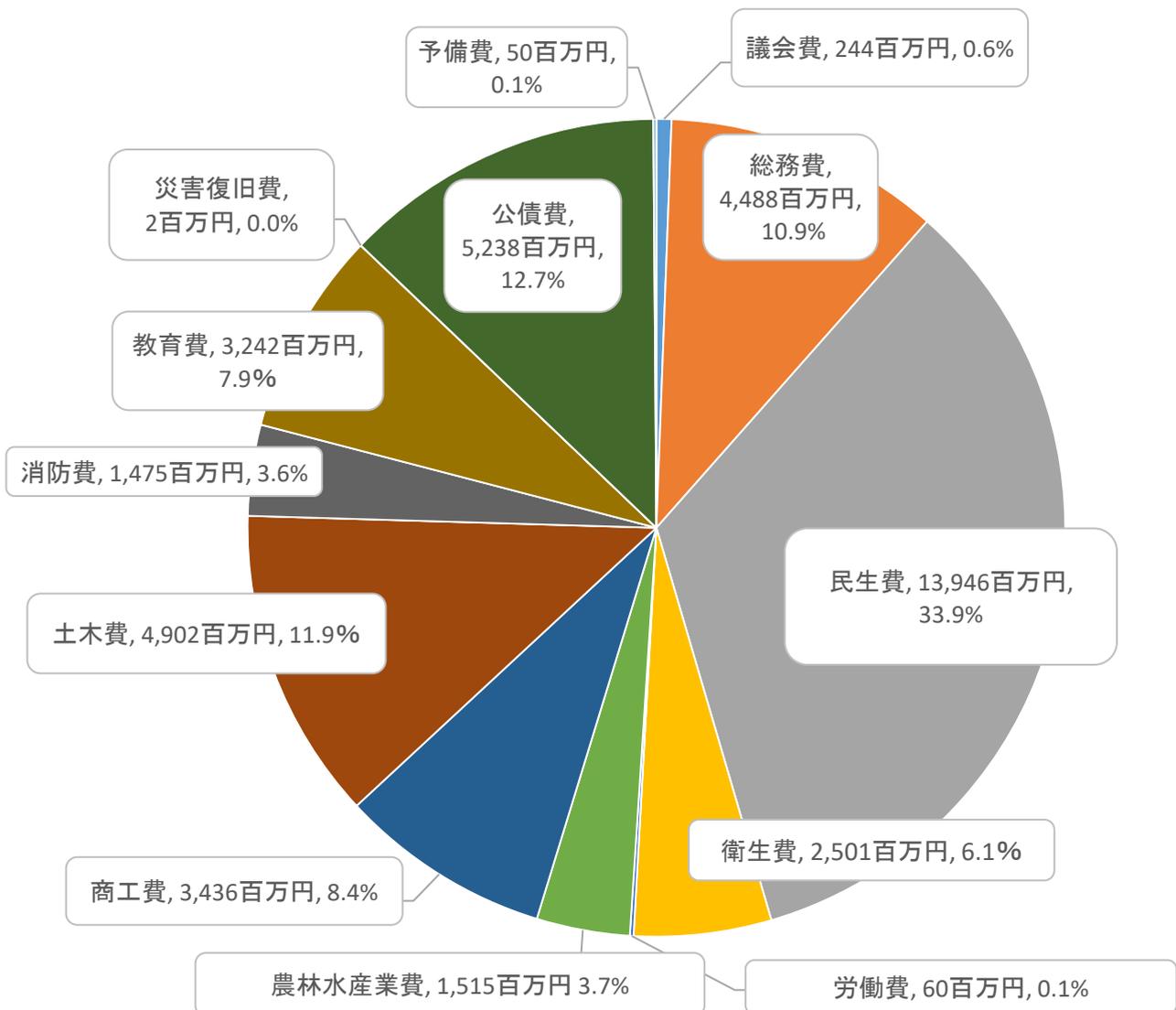


※構成比は、百万円未満四捨五入により、100%とならない場合があります。  
 ※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しない場合があります。

## 歳出（目的別）

款	歳出項目	令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	増減(千円)	増減率(%)
01	議会費	244,334	247,026	△ 2,692	△ 1.1
02	総務費	4,488,314	4,399,267	89,047	2.0
03	民生費	13,945,712	12,949,271	996,441	7.7
04	衛生費	2,500,895	4,973,938	△ 2,473,043	△ 49.7
05	労働費	60,176	89,007	△ 28,831	△ 32.4
06	農林水産業費	1,515,421	1,763,326	△ 247,905	△ 14.1
07	商工費	3,436,111	1,667,896	1,768,215	106.0
08	土木費	4,902,178	6,311,978	△ 1,409,800	△ 22.3
09	消防費	1,475,181	1,525,705	△ 50,524	△ 3.3
10	教育費	3,241,723	3,055,813	185,910	6.1
11	災害復旧費	1,500	23,235	△ 21,735	△ 93.5
12	公債費	5,238,455	5,123,538	114,917	2.2
13	予備費	50,000	50,000	0	0.0
	計	41,100,000	42,180,000	△ 1,080,000	△ 2.6

### 歳出目的別内訳

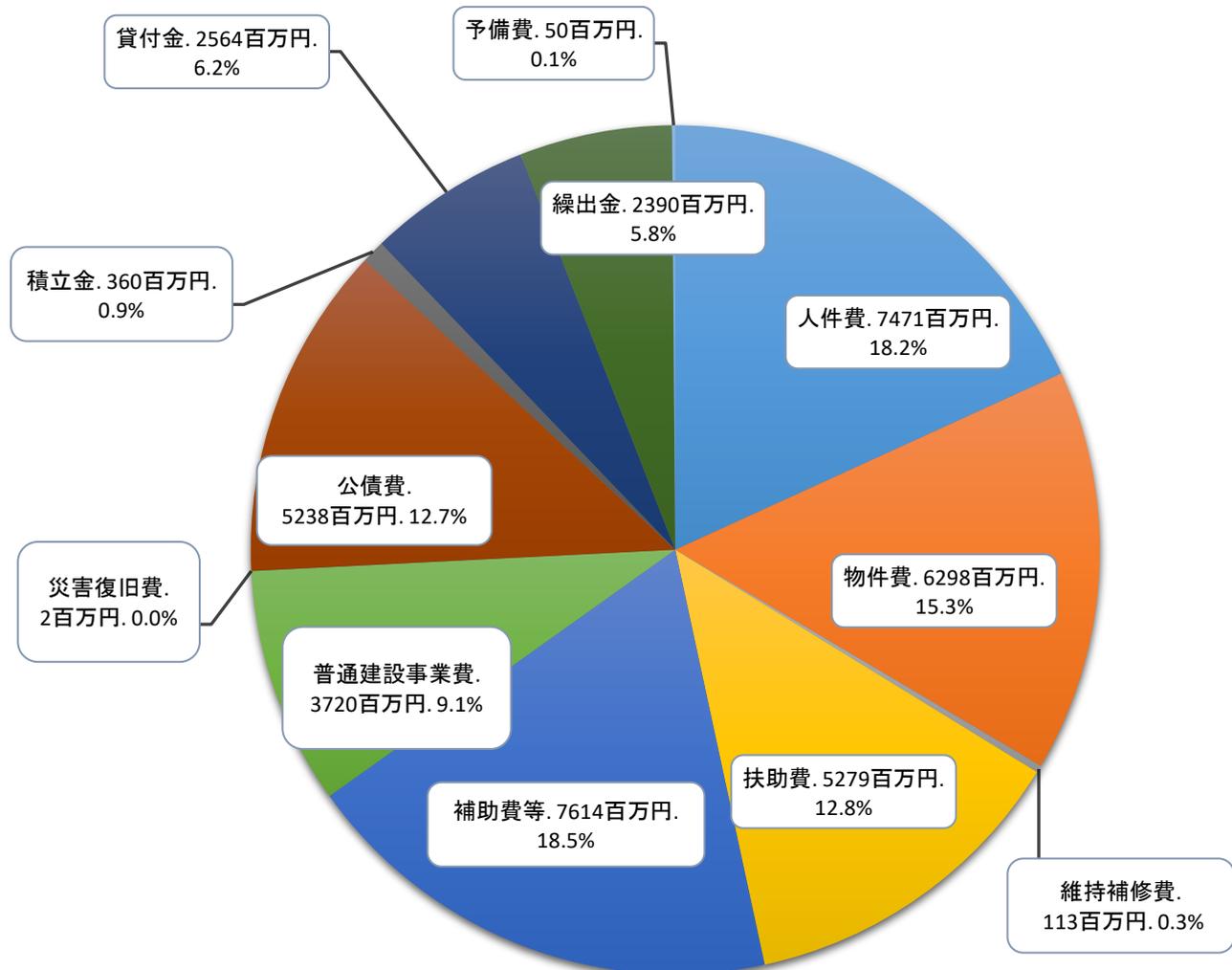


※構成比は、百万円未満四捨五入により、100%とならない場合があります。  
 ※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しない場合があります。

## 歳出（性質別）

性質	令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	増減(千円)	増減率(%)
人件費	7,471,123	7,436,022	35,101	0.5
物件費	6,298,109	5,576,466	721,643	12.9
維持補修費	113,282	108,429	4,853	4.5
扶助費	5,278,579	5,215,773	62,806	1.2
補助費等	7,614,182	10,292,860	△ 2,678,678	△ 26.0
普通建設事業費	3,719,971	4,516,333	△ 796,362	△ 17.6
災害復旧費	1,500	23,235	△ 21,735	△ 93.5
公債費	5,238,455	5,123,538	114,917	2.2
積立金	360,259	450,028	△ 89,769	△ 19.9
投資及び出資金	0	74,800	△ 74,800	△ 100.0
貸付金	2,564,430	963,896	1,600,534	166.0
繰出金	2,390,110	2,348,620	41,490	1.8
予備費	50,000	50,000	0	0.0
計	41,100,000	42,180,000	△ 1,080,000	△ 2.6

## 歳出性質別内訳



※構成比は、百万円未満四捨五入により、100%とならない場合があります。  
 ※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しない場合があります。

## 令和3年度安曇野市各会計予算額一覧

単位：千円

会 計 名	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	比 較	対前年度 比率 %
安曇野市一般会計	41,100,000	42,180,000	△ 1,080,000	△ 2.6
安曇野市国民健康保険特別会計	9,986,248	9,815,283	170,965	1.7
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,301,374	1,347,221	△ 45,847	△ 3.4
安曇野市介護保険特別会計	10,008,493	9,453,702	554,791	5.9
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,050	1,582	468	29.6
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	910	883	27	3.1
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,080	1,192	△ 112	△ 9.4
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	960	1,021	△ 61	△ 6.0
安曇野市穂高山林財産区特別会計	900	1,092	△ 192	△ 17.6
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,146,901	1,084,696	62,205	5.7
安曇野市有明荘特別会計	16,275	7,702	8,573	111.3
特別会計合計	22,465,191	21,714,374	750,817	3.5
総 計（一般会計+特別会計）	63,565,191	63,894,374	△ 329,183	△ 0.5

会 計 名 等	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	比 較	対前年度 比率 %	
安曇野市水道事業会計	収益的收入	2,302,472	2,349,830	△ 47,358	△ 2.0
	収益的支出	1,896,410	1,910,760	△ 14,350	△ 0.8
	資本的收入	161,979	269,319	△ 107,340	△ 39.9
	資本的支出	1,329,719	1,738,950	△ 409,231	△ 23.5
安曇野市下水道事業会計	収益的收入	4,297,701	4,396,348	△ 98,647	△ 2.2
	収益的支出	3,679,292	3,773,888	△ 94,596	△ 2.5
	資本的收入	882,004	777,699	104,305	13.4
	資本的支出	2,663,684	2,532,549	131,135	5.2

## 令和3年度一般会計補正予算（第1号）の概要等

### 1 令和3年度一般会計補正予算（第1号）の編成方針等

#### ○ 基本事項

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急支援策として、速やかに実施が必要である事業に対し、追加予算を計上する。

### 2 補正予算見積状況

補正予算額	2億6,900万円
補正前の予算額	411億円
補正後の予算額	413億6,900万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
269,000	962	0	△29,160	297,198

### 3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
<b>使用料及び手数料</b>				
10	可燃ごみ処理手数料	△2,916万円	清掃費	もえるごみ専用指定袋の市民配布による可燃ごみ処理手数料の減額
<b>国庫支出金</b>				
10	疾病予防対策事業費等補助金	96万2千円	保健衛生総務費	高齢者等へのPCR検査等の費用を扶助するための国庫支出金
<b>繰入金</b>				
10	財政調整基金繰入金	2億9,719万8千円	一般財源	財源調整による

### 4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
<b>総務費</b>			
12	穂高支所費	20万9千円	支所来庁者の体温を測定する非接触式検知機の設置による計上
12	三郷支所費	10万5千円	支所来庁者の体温を測定する非接触式検知機の設置による計上
12	堀金支所費	20万9千円	支所来庁者の体温を測定する非接触式検知機の設置による計上
12	明科支所費	10万5千円	支所来庁者の体温を測定する非接触式検知機の設置による計上
12	企画総務費	24万1千円	オンラインによる移住セミナーや相談会を定期開催するために、パソコンなどのICT機器の導入経費を計上

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	<b>衛生費</b>		
14	保健衛生総務費	192万5千円	高齢者や基礎疾患を有する方の希望によるPCR検査等にかかる費用の一部を計上
14	清掃費	1,326万9千円	もえるごみ専用指定袋を全市民に配布する費用を計上
	<b>農林水産業費</b>		
16	農村都市交流促進事業	840万円	教育旅行で農家民宿を利用する学校やワクチン未接種の受入農家に対し、PCR検査費用を計上
	<b>商工費</b>		
18	市制度資金貸付事業	5,800万円	国の緊急事態宣言、県の松本地域感染警戒レベル4の指定等により大きな影響を受けた飲食宿泊事業者等への保証料補給金と新型コロナウイルス対策特別資金の返済負担緩和により生じる保証料補給金を計上
18	新型コロナウイルス感染症対策事業	1億4,100万円	国の緊急事態宣言・県の松本地域感染警戒レベル4の指定等により大きな影響を受けた飲食店と飲食宿泊業者への納入業者に対する給付金を計上
18	新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	3,750万円	国の緊急事態宣言、年末からのGotoトラベルの休止を受け、観光客の減少による売り上げ減少や休館を余儀なくされた宿泊施設等に給付金を計上
	<b>教育費</b>		
20	中央公民館事業費	146万円	「新しい生活様式」に対応したオンライン生涯学習講座を提供するために、タブレットなどのICT機器の導入経費を計上
20	図書館費	657万7千円	市内公共図書館5館に1台ずつ図書除菌機を設置する費用を計上

## 【参考】

## 令和3年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算 (第1号)	41,100,000	269,000	41,369,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算	9,986,248		9,986,248
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算	1,301,374		1,301,374
安曇野市介護保険特別会計 補正予算	10,008,493		10,008,493
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算	2,050		2,050
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算	910		910
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算	1,080		1,080
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算	960		960
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算	900		900
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算	1,146,901		1,146,901
安曇野市有明荘特別会計 補正予算	16,275		16,275
特別会計合計	22,465,191	0	22,465,191
総 計 (一般会計+特別会計)	63,565,191	269,000	63,834,191

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,302,472		2,302,472
	収益的支出	1,896,410		1,896,410
	資本的収入	161,979		161,979
	資本的支出	1,329,719		1,329,719
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,297,701		4,297,701
	収益的支出	3,679,292		3,679,292
	資本的収入	882,004		882,004
	資本的支出	2,663,684		2,663,684

## 令和3年度一般会計補正予算（専決第1号）の概要等

### 1 令和3年度一般会計補正予算（専決第1号）の編成方針等

#### ○ 基本事項

・新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急支援策として、速やかに実施が必要である事業に対し、追加予算を計上する。

### 2 補正予算見積状況

補正予算額	1億4,300万円
補正前の予算額	413億6,900万円
補正後の予算額	415億1,200万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
143,000	142,886	0	114	0

### 3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
<b>国庫支出金</b>				
10	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	1,138万7千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種実施に伴う費用のための負担金
10	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分)国庫補助金	5,400万円	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分)	低所得のひとり親家庭等への生活支援特別給付金のための国庫補助金
10	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	7,749万9千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種実施に伴う費用のための補助金
<b>諸収入</b>				
10	新型コロナウイルスワクチン市外接種委託金	11万4千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種実施に伴う費用のための国保連からの委託金

### 4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
<b>民生費</b>			
12	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分)	5,400万円	低所得のひとり親家庭等への生活支援特別給付金の計上
<b>衛生費</b>			
14	ワクチン予防接種事業	8,900万円	新型コロナウイルスワクチン接種実施に伴う費用の計上
<b>参考</b>			
17	一般職員人件費(報酬・手当)	552万9千円	報酬(112万円) 手当(440万9千円)

## 【参考】

## 令和3年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算 (第1号)	41,369,000	143,000	41,512,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算	9,986,248		9,986,248
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算	1,301,374		1,301,374
安曇野市介護保険特別会計 補正予算	10,008,493		10,008,493
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算	2,050		2,050
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算	910		910
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算	1,080		1,080
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算	960		960
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算	900		900
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算	1,146,901		1,146,901
安曇野市有明荘特別会計 補正予算	16,275		16,275
特別会計合計	22,465,191	0	22,465,191
総 計 (一般会計+特別会計)	63,834,191	143,000	63,977,191

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,302,472		2,302,472
	収益的支出	1,896,410		1,896,410
	資本的収入	161,979		161,979
	資本的支出	1,329,719		1,329,719
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,297,701		4,297,701
	収益的支出	3,679,292		3,679,292
	資本的収入	882,004		882,004
	資本的支出	2,663,684		2,663,684

## 令和3年度一般会計補正予算（第2号）の概要等

### 1 令和3年度一般会計補正予算（第2号）の編成方針等

#### ○ 基本事項

『当初予算の執行開始後間もない』こと、及び『増額補正に対応する財源確保が困難である』ことから、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ① 市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要するものの補正
- ② 国庫・県支出金の交付決定が出されたもののうち、早期着手が必要な案件に係る部分の補正
- ③ 当初予算編成時において、諸条件が整い次第予算化を検討するとしたもののうち、要件を満たしたものであって、緊急を要するものの補正
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策として、緊急且つ速やかに実施が必要なものの補正

### 2 補正予算見積状況

<b>補正予算額</b>	<b>3億5,200万円</b>
<b>補正前の予算額</b>	<b>415億1,200万円</b>
<b>補正後の予算額</b>	<b>418億6,400万円</b>

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
352,000	306,677	0	△298,240	343,563

### 3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
<b>分担金及び負担金</b>				
10	児童クラブ負担金	176 万円	児童館運営費	豊科南小児童クラブ と三郷児童クラブ利 用者増額分の負担金
<b>国庫支出金</b>				
10	新型コロナウイルス 感染症対応地方創生 臨時交付金	3 億円	穂高支所費など 全 13 事業	令和 2 年度からの繰 越分による臨時交付 金
10	子ども子育て支援交 付金	296 万円	保育政策費	国による子ども子育 て支援新制度の追加 による交付金
<b>県支出金</b>				
10	子ども子育て支援交 付金	296 万円	保育政策費	国による子ども子育 て支援新制度の追加 による交付金
10	不登校児童生徒継続 支援事業委託金	75 万 7 千円	教育支援センタ ー運営事業	県教委の不登校児童 生徒に対する学びの 継続支援事業を受託 したための委託金
<b>繰入金</b>				
10	産業団地造成事業特 別会計繰入金	4 億 2,221 万 5 千円	一般財源	産業団地造成事業特 別会計からの繰入金
12	財政調整基金繰入金	△7,865 万 2 千円	一般財源	財源調整による
12	減債基金繰入金	△ 3 億円	長期借入金償還 元金	財源調整による

#### 4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
<b>総務費</b>			
14	基金積立金	3億円	財源調整による財政調整基金への積立
<b>民生費</b>			
16	在宅福祉事業	96万円	アクティブシニアがんばろう事業における、さらなる高齢者の健康づくりや介護予防活動を支援するもの
16	児童館運営費	728万9千円	豊科南小児童クラブと三郷児童クラブに定員を上回る申請があったため、受入体制を整えるためのもの
16	保育政策費	329万3千円	国による子ども子育て支援新制度の追加により、新たな補助制度を創設するとともに既存の補助制度の拡充を行うためのもの
<b>教育費</b>			
24	教育支援センター運営事業	75万8千円	県教委の不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業を受託したことによるもの
24	小学校総務管理費	2,331万1千円	市内小学校のパソコンリース料の増額
24	中学校総務管理費	974万9千円	7品目のデジタル教科書購入のための増額
<b>公債費</b>			
28	長期借入金償還元金	655万8千円	令和2年度減収補填債などの償還元金
28	長期借入金償還利子	8万2千円	令和2年度減収補填債などの償還利子
<b>参考</b>			
30	一般職員人件費 (報酬)	66万8千円	報酬(66万8千円)

## 【参考】

## 令和3年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算 (第2号)	41,512,000	352,000	41,864,000
安曇野市国民健康保険特別会計	9,986,248		9,986,248
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,301,374		1,301,374
安曇野市介護保険特別会計	10,008,493		10,008,493
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,050		2,050
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	910		910
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,080		1,080
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	960		960
安曇野市穂高山林財産区特別会計	900		900
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算 (第1号)	1,146,901	△9,841	1,137,060
安曇野市有明荘特別会計	16,275		16,275
特別会計合計	22,465,191	△9,841	22,455,350
総 計 (一般会計+特別会計)	63,977,191	342,159	64,319,350

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,302,472		2,302,472
	収益的支出	1,896,410		1,896,410
	資本的収入	161,979		161,979
	資本的支出	1,329,719		1,329,719
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,297,701		4,297,701
	収益的支出	3,679,292		3,679,292
	資本的収入	882,004		882,004
	資本的支出	2,663,684		2,663,684

## 令和3年度一般会計補正予算（第3号）の概要等

### 1 令和3年度一般会計補正予算（第3号）の編成方針等

#### ○ 基本事項

新型コロナウイルス感染拡大に対する生活支援として、低所得の子育て世帯に対し、「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給すること、及び総合支援資金等の特例貸付を利用出来ない生活困窮世帯に対し、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給することについて国の補助制度に基づき追加予算を計上する。

### 2 補正予算見積状況

補正予算額	1億2,900万円
補正前の予算額	418億6,400万円
補正後の予算額	419億9,300万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
129,000	129,000	0	0	0

### 3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	<b>国庫支出金</b>			
10	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(その他世帯分) 国庫補助金	8,400 万円	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(その他世帯分)	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(その他世帯分)に対する補助
10	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金補助金	4,500 万円	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業に対する補助

### 4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	<b>民生費</b>		
12	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	4,500 万円	総合支援資金等の特例貸付を利用出来ない生活困窮世帯に給付する自立支援金等の計上
12	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(その他世帯分)	8,400 万円	低所得の子育て世帯等に給付する生活支援特別給付金等の計上
	<b>参考</b>		
14	一般職員人件費(報酬・手当)	278 万 5 千円	報酬 (152 万 4 千円) 手当 (126 万 1 千円)

## 【参考】

## 令和3年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第3号）	41,864,000	129,000	41,993,000
安曇野市国民健康保険特別会計	9,986,248		9,986,248
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,301,374		1,301,374
安曇野市介護保険特別会計	10,008,493		10,008,493
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,050		2,050
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	910		910
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,080		1,080
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	960		960
安曇野市穂高山林財産区特別会計	900		900
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,137,060		1,137,060
安曇野市有明荘特別会計	16,275		16,275
特別会計合計	22,455,350	0	22,455,350
総 計（一般会計+特別会計）	64,319,350	129,000	64,448,350

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,302,472		2,302,472
	収益的支出	1,896,410		1,896,410
	資本的収入	161,979		161,979
	資本的支出	1,329,719		1,329,719
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,297,701		4,297,701
	収益的支出	3,679,292		3,679,292
	資本的収入	882,004		882,004
	資本的支出	2,663,684		2,663,684

## 令和3年度一般会計補正予算（第4号）の概要等

### 1 令和3年度一般会計補正予算（第4号）の編成方針等

#### ○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を的確に分析し、令和3年度後期の必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ①本年度の予算執行段階において、見直し等を決定した予算及び、入札等により事業費が確定したことによる補正
- ②事業実施に関する諸条件が整ったことによる事業化の見通しがたったもので、緊急を要するなど、年度途中で事業実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
- ③市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正
- ④新型コロナウイルス感染拡大対策により、速やかに実施が必要となる補正

### 2 補正予算見積状況

補正予算額	11億9,700万円
補正前の予算額	419億9,300万円
補正後の予算額	431億9,000万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
1,197,000	57,651	△539,700	△523,727	2,202,776

### 3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	地方特例交付金			
12	個人住民税減収補填特例交付金	713万2千円	一般財源	交付額の決定による
12	自動車税減収補填特例交付金	△558万6千円	一般財源	交付額の決定による
12	軽自動車税減収補填特例交付金	△351万5千円	一般財源	交付額の決定による
	地方交付税			
12	普通交付税	14億9,420万3千円	一般財源	交付額の決定による
	使用料及び手数料			
12	公共施設目的外使用料(本庁舎)	△197万円	一般財源	本庁舎内の自動販売機設置使用料確定による
	国庫支出金			
14	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	343万5千円	・新型コロナウイルス感染症対策事業 ・新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	臨時交付金の追加内示による
14	保育対策総合支援事業補助金	301万円	・認定こども園管理費 ・保育政策費	保育施設における新型コロナウイルス感染対策用物品等に対する補助
14	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	4,233万4千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保経費に対する補助
14	都市再生整備計画事業	△1,840万円	都市再生整備計画事業(都市整備分)	明科駅周辺整備事業に対する社会資本整備総合交付金の確定による
14	シンポジウム助成金	△250万円	都市公園等維持管理事業	新型コロナウイルス感染症の影響による「信州安曇野花とみどりのシンポジウム」の中止による
14	公立学校情報機器整備費補助金(GIGAスクールサポーター配置促進事業)	330万3千円	事務局費	GIGAスクールサポーター配置促進事業に対する補助
14	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業補助金	1,060万円	・学校バス運行事業 ・小学校総務管理費 ・中学校総務管理費	新型コロナウイルス感染症対策用物品等に対する補助

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	県支出金			
16	新型コロナウイルス感染症 対応医療機器等整備事業	82万4千円	保健衛生総務費	外来・検査センターの設置 期間延長に伴うプレハブリ ースに対する補助
16	長野県新型コロナウイルス 感染症外来・検査センター 事業実施業務委託金	806万5千円	保健衛生総務費	外来・検査センターの設置 期間延長に伴う検査業務に 対する委託金
	寄附金			
16	指定寄附金	358万8千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般管理費</li> <li>・保育政策費</li> <li>・道路橋梁維持費</li> <li>・事務局費</li> <li>・小学校教育振興費</li> </ul>	指定寄附による
16	ふるさと寄附金	3億円	寄附採納事務	寄附額の増額見込による
	繰入金			
16	財政調整基金繰入金	△8,910万2千円	一般財源	財源調整による
16	減債基金繰入金	△1億円	長期借入金償還元金	財源調整による
16	公共施設整備基金繰入金	△7億4,000万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市単土地改良事業</li> <li>・道路橋梁維持費</li> <li>・認定こども園管理費</li> <li>など 他9事業</li> </ul>	財源調整による
18	旧穂高町外1ヶ町一ノ 沢山林組合に関する基 金繰入金	458万7千円	林業振興事業	山林組合補助に対する繰入
18	福祉基金繰入金	825万円	老人福祉施設管理事業	明科総合福祉センター非常 用発電機更新に対する繰入
	繰越金			
18	繰越金	7億7,010万4千円	一般財源	前年度繰越金

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	諸収入			
18	林業費雑入	245 万円	市有林の造成及び管理	三郷西部認定こども園建設で利用する市有林の売払い収入
18	コミュニティ助成金（地域づくり）	△200 万円	文化振興費	新型コロナウイルス感染症の影響による「第 30 回信州安曇野薪能」の中止による
	市債			
18	臨時財政対策債	3,089 万 6 千円	一般財源	発行可能額の決定による
18	借換債	△5 億 5,640 万円	長期借入金償還元金	借換債（旧合併特例事業債・総務債）の発行取止めによる減
18	公共事業等債	1,670 万円	都市再生整備計画事業（都市整備分）	明科駅周辺整備事業に対する社会資本整備総合交付金の減額に対応した起債額の増

#### 4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	総務費		
20	寄附採納事務	4億2,549万2千円	寄附額の増額見込みに伴う返礼品費の増など
20	職員管理	284万7千円	常勤職員不在時対応によるパートタイム会計年度任用職員報酬の計上など
20	本庁舎管理費	282万4千円	庁内設備等の修繕
20	豊科地域事業	△340万円	新型コロナウイルス感染防止による「第42回あづみ野祭り」中止に伴う補助金額の減
22	基金積立金	6億2,017万5千円	繰越金確定に伴う財政調整基金への積立、及び財源調整による減債基金への積立など
24	戸籍住民基本台帳管理費	1032万6千円	マイナンバーカード申請件数の増加に伴う事務経費の増など
	民生費		
28	障がい者支援センター費	163万2千円	空調設備更新に伴う設計費の計上など
30	老人福祉施設管理事業	974万3千円	明科総合福祉センターにおける施設改修工事など
32	保育政策費	351万1千円	私立保育施設に対する新型コロナウイルス感染症対策用品購入補助など
	衛生費		
36	保健衛生総務費	2,144万7千円	新型コロナウイルス外来・検査センターの設置期間延長に伴う実施経費など
36	予防総務費	397万4千円	健(検)診結果のデータ標準化に伴う健(検)診情報連携システムの改修
38	ワクチン予防接種事業	4,233万9千円	新型コロナウイルスワクチン接種に係るコールセンター人員の増など、接種体制確保経費の計上

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	農林水産業費		
44	林業振興事業	1,075万3千円	「旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金」の繰入による山林組合補助の増など
44	市有林の造成及び管理	1,565万6千円	三郷西部認定こども園建設事業で使用する市有林の伐採、搬出等に係る委託費の計上
	商工費		
48	工業振興事業	1,223万1千円	地域経済牽引企業による市内の工場用地取得に対する企業支援助成補助金の増など
48	市制度資金貸付事業	1,500万円	市制度資金・新型コロナ対策特別資金の適用期限を12月末まで3カ月間の延長したことによる保証料補給金の増
48	新型コロナウイルス感染症対策事業	524万5千円	新型コロナワクチン接種後における経済活動の需要回復を見据え、県のコロナ対策認証取得店舗の情報発信支援や、友好姉妹都市での物産販売支援など、市内産業等の販売促進経費
48	新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	530万円	信州まつもと空港の神戸便複数便化に伴い、福岡便、札幌便を合わせた滞在型観光誘客の促進等、市内への観光需要を増進させるため、市内店舗や宿泊施設等で利用できる「地域応援クーポン券」、「地域応援宿泊券」、「地域応援タクシー券」の発行経費
	土木費		
54	都市公園等維持管理事業	△250万円	新型コロナウイルス感染症の影響による「信州安曇野 花とみどりのシンポジウム」の中止に伴う実施経費の減
	消防費		
56	非常備消防費	△111万1千円	新型コロナウイルス感染拡大に伴うポンプ操法大会中止による大会実施経費の減
	教育費		
60	小学校総務管理費	936万1千円	各小学校における新型コロナウイルス感染症対策用品の購入
60	小学校教育振興費	250万円	指定寄附による学習用備品等の購入

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
62	中学校総務管理費	596 万円	各中学校における新型コロナウイルス感染症対策用品の購入
62	中学校施設維持修繕事業	199 万 1 千円	中学校施設の修繕費の計上
64	文化振興費	△685 万 7 千円	新型コロナウイルス感染症の影響による「第 30 回信州安曇野薪能」の中止に伴う実施経費の減など
64	文化財保護費	192 万 5 千円	文化財の保護に係る補助額の増
66	社会体育総務費	△245 万 7 千円	4 月 2 日実施済みの「東京 2020 オリンピック聖火リレー」における不用額の減
参考			
71	一般職人件費 (報酬・給料・手当・共済)	1,141 万 1 千円	報酬 (591 万 6 千円) 給料 (△3,580 万円) 手当 (3,499 万 5 千円) 共済 (630 万円)

## 5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
令和 3 年 (行ウ) 第 3 号許可処分取消等請求事件	委託事務の処理にあたる報酬及び調停費用	事件結果が判明する日まで	結審に複数年を要するため
地域経済牽引企業工場用地取得事業 (令和 3 年度第 2 期追加分)	2,290 万 6 千円	令和 4 年度から令和 5 年度まで	企業助成に係る補助金交付が、複数年となるため
生産設備取得事業 (令和 3 年度第 2 期追加分)	340 万円	令和 4 年度から令和 5 年度まで	企業助成に係る補助金交付が、複数年となるため

## 2 変更

事業名	補正前		補正後		変更の理由
	期間	限度額	期間	限度額	
証明書コンビニ交付システム保守業務	令和 4 年度から令和 8 年度まで	1,755 万 6 千円	補正前と同じ	1,868 万 7 千円	保守料金体系の変更による

## 【参考】

## 令和3年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第4号）	41,993,000	1,197,000	43,190,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算	9,986,248	75,567	10,061,815
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算	1,301,374	25,570	1,326,944
安曇野市介護保険特別会計 補正予算	10,008,493	148,591	10,157,084
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算	2,050		2,050
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算	910		910
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算	1,080		1,080
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算	960		960
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算	900		900
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算	1,137,060	856	1,137,916
安曇野市有明荘特別会計 補正予算	16,275	0	16,275
特別会計合計	22,455,350	250,584	22,705,934
総 計（一般会計+特別会計）	64,448,350	1,447,584	65,895,934

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,302,472		2,302,472
	収益的支出	1,896,410		1,896,410
	資本的収入	161,979		161,979
	資本的支出	1,329,719	50,000	1,379,719
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,297,701		4,297,701
	収益的支出	3,679,292		3,679,292
	資本的収入	882,004		882,004
	資本的支出	2,663,684		2,663,684

## 令和3年度一般会計補正予算（第5号）の概要等

### 1 令和3年度一般会計補正予算（第5号）の編成方針等

○ 基本事項

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急支援策として、速やかに実施が必要な事業や、令和3年8月豪雨により被災した道路施設などの復旧費等、緊急に対応が必要なものについて追加予算を計上する。

### 2 補正予算見積状況

補正予算額	3億2,600万円
補正前の予算額	431億9,000万円
補正後の予算額	435億1,600万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
326,000	158,485	0	0	167,515

### 3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	<b>国庫支出金</b>			
10	新型コロナウイルス ワクチン接種対策費 負担金	8,314万5千円	ワクチン予防接種 事業	新型コロナウイルス ワクチン接種の実施 経費に対する国庫負 担金
10	新型コロナウイルス ワクチン接種体制確 保事業補助金	414万円	ワクチン予防接種 事業	新型コロナウイルス ワクチン接種の体制 確保経費に対する国 庫補助金
	<b>県支出金</b>			
10	特別警報Ⅱ発出市町 村等事業者支援交付 金	7,120万円	新型コロナウイルス 感染症対策事業	特別警報Ⅱが発出さ れた市町村が行う地 域経済の支援策に対 する県交付金
	<b>繰入金</b>			
10	財政調整基金繰入金	1億6,751万5千円	一般財源	財源調整による

#### 4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	<b>総務費</b>		
12	公共交通事業	150 万円	新型コロナウイルス感染が疑われる方の送迎専用車両購入補助金の計上
	<b>民生費</b>		
14	障がい者福祉総務費	854 万円	市内障がい者施設等に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク・手袋・消毒液等を配布する事業実施による増
14	老人福祉総務費	256 万 2 千円	市内高齢者施設等に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク・手袋・消毒液等を配布する事業実施による増
14	介護保険対策費	1,451 万 7 千円	市内介護保険施設等に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク・手袋・消毒液等を配布する事業実施による増
	<b>衛生費</b>		
16	ワクチン予防接種事業	8,728 万 5 千円	対象年齢の拡充及び接種率の上昇により、接種者が増加したことによる接種委託料及び接種体制確保経費の増
	<b>商工費</b>		
18	新型コロナウイルス感染症対策事業	1 億 901 万円	県の特別警報Ⅱ発令により影響を受けた飲食店等取引事業者等の事業継続に向けた支援策実施による増並びに県の特別警報Ⅱ発令など感染のまん延が危惧される中、地域一体となった取り組みとして、県の感染防止対策認証制度の取得推進や、対策強化備品整備等の事業者支援策を実施することによる増
18	新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	5,670 万円	県の特別警報Ⅱ発令により、市内の飲食店に対する時短要請が発出されたことに伴い、人流の低下によって直接的な影響を受けた市内観光関連事業者に対し、その経営の継続を支援し、感染症拡大収束後の観光需要の回復につなげていくため、観光関連事業者応援給付金の増
18	施設管理整備事業	110 万円	8月の豪雨により被災した御宝田水のふるさと公園の白鳥湖復旧工事費の計上

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	<b>消防費</b>		
20	防災無線維持管理費	253 万円	8月1日落雷破損による二木区公民館設置屋外子局修繕費の計上
20	災害対策費	263 万 1 千円	新型コロナウイルス感染症対策として、抗原簡易キットの配布に係る諸経費を計上
	<b>教育費</b>		
22	社会体育施設管理費	119 万 9 千円	8月の豪雨により被災した豊科水辺マレットゴルフ場の橋の復旧工事費の計上
	<b>災害復旧費</b>		
24	道路災害復旧事業	1,030 万円	8月の豪雨により被災した市内道路、河川の復旧工事費の計上
24	林道災害復旧事業	848 万 1 千円	8月の豪雨により被災した林道の復旧に必要な経費の計上
24	耕地災害復旧事業	1,964 万 5 千円	8月の豪雨により被災した耕地施設の復旧に必要な経費の計上
	<b>参考</b>		
26	一般職人件費 (報酬)	311 万 1 千円	報酬 (311 万 1 千円)

## 【参考】

## 令和3年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第5号）	43,190,000	326,000	43,516,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算	10,061,815		10,061,815
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算	1,326,944		1,326,944
安曇野市介護保険特別会計 補正予算	10,157,084		10,157,084
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算	2,050		2,050
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算	910		910
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算	1,080		1,080
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算	960		960
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算	900		900
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算	1,137,916		1,137,916
安曇野市有明荘特別会計 補正予算	16,275		16,275
特別会計合計	22,705,934	0	22,705,934
総 計（一般会計+特別会計）	65,895,934	326,000	66,221,934

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,302,472		2,302,472
	収益的支出	1,896,410		1,896,410
	資本的収入	161,979		161,979
	資本的支出	1,379,719		1,379,719
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,297,701		4,297,701
	収益的支出	3,679,292		3,679,292
	資本的収入	882,004		882,004
	資本的支出	2,663,684		2,663,684

## (2) 予算執行状況 (令和3年9月末現在)

### ア 会計別予算執行状況

#### 歳入予算執行

歳入予算の執行状況は予算比で45.3%、調定比で58.6%となった。

なお、予算現額は、令和2年度の繰越明許費、事故繰越しに係る歳入予算を含みます。

(単位：千円、%)

会計名称	予算現額	調定額	収入累計額	収入率	
				予算比	調定比
一般会計	46,451,118	32,291,536	20,566,831	44.3	63.7
安曇野市国民健康保険特別会計	10,061,815	9,770,785	4,197,425	41.7	43.0
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,326,944	1,185,755	666,769	50.2	56.2
安曇野市介護保険特別会計	10,157,084	9,057,510	4,603,581	45.3	50.8
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,050	1,260	1,260	61.5	100.0
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	910	425	425	46.7	100.0
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,080	623	623	57.7	100.0
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	960	613	613	63.9	100.0
安曇野市穂高山林財産区特別会計	900	475	475	52.8	100.0
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,441,417	1,438,541	1,438,541	99.8	100.0
安曇野市有明荘特別会計	16,275	11,006	11,006	67.6	100.0
計	69,460,553	53,758,529	31,487,549	45.3	58.6

#### 歳出予算執行

歳出予算の執行状況は負担行為済比で55.7%、支出済比で41.3%となった。

なお、予算現額は、令和2年度の繰越明許費、事故繰越しに係る歳出予算を含みます。

(単位：千円、%)

会計名称	予算現額	支出負担 行為済額	支出累計額	執行率	
				負担行為	支出済
一般会計	46,451,118	26,897,235	18,780,341	57.9	40.4
安曇野市国民健康保険特別会計	10,061,815	5,485,949	3,814,747	54.5	37.9
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,326,944	765,307	618,335	57.7	46.6
安曇野市介護保険特別会計	10,157,084	4,063,521	3,999,544	40.0	39.4
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,050	524	524	25.6	25.6
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	910	58	58	6.4	6.4
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,080	22	22	2.0	2.0
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	960	22	22	2.3	2.3
安曇野市穂高山林財産区特別会計	900	22	22	2.4	2.4
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,441,417	1,437,224	1,437,224	99.7	99.7
安曇野市有明荘特別会計	16,275	12,014	3,883	73.8	23.9
計	69,460,553	38,661,898	28,654,722	55.7	41.3

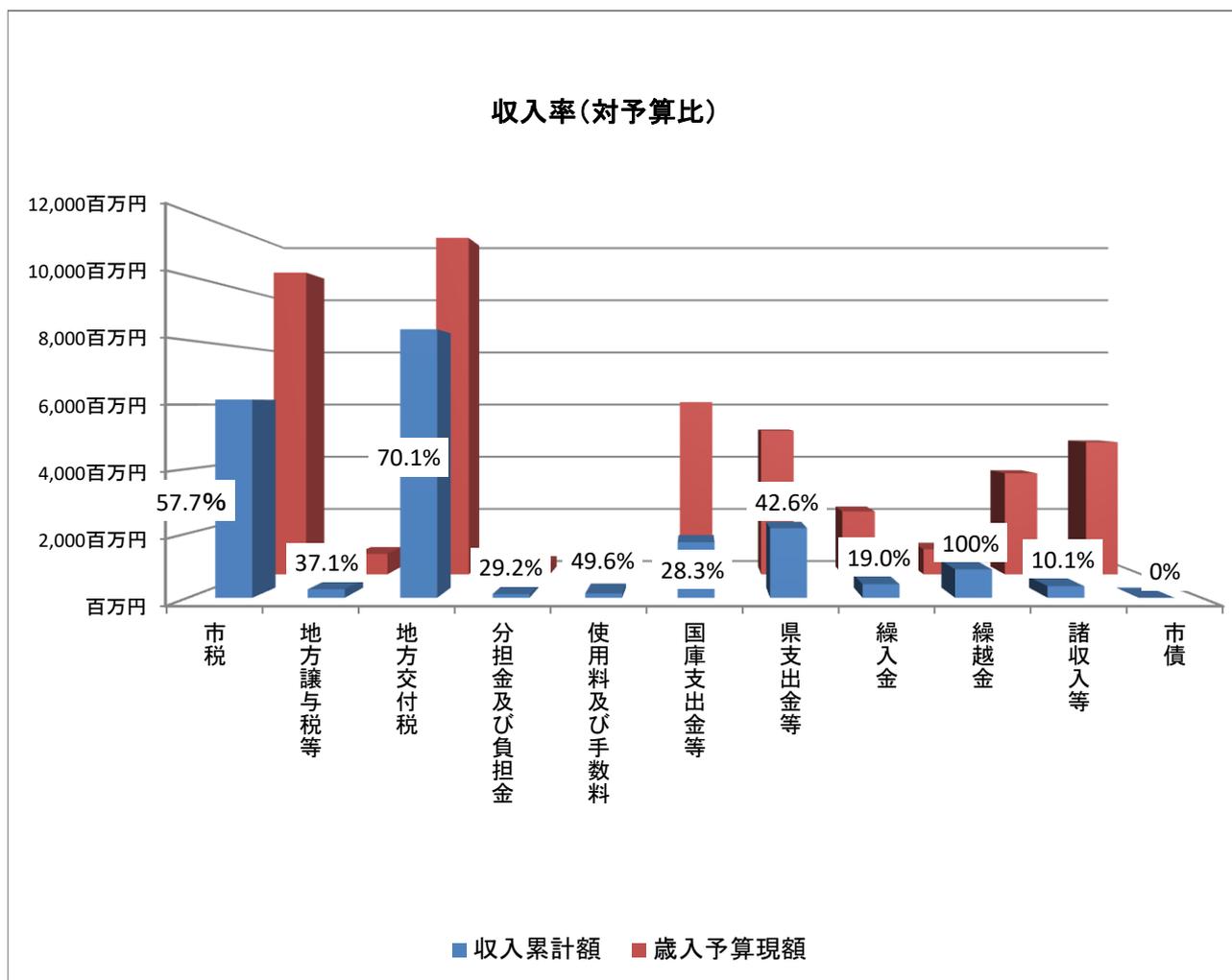
※予算現額には繰越予算を含む。表示単位未満は四捨五入。

イ 一般会計予算の執行状況

歳入執行状況

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額	調定額	収入累計額	収入率	
				予算比	調定比
1 市税	10,666,366	11,392,034	6,153,572	57.7	54.0
2 地方譲与税	471,564	151,159	151,159	32.1	100.0
3 利子割交付金	7,000	3,981	3,981	56.9	100.0
4 配当割交付金	45,000	12,798	12,798	28.4	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	51,000	0	0	0.0	0.0
6 法人事業税交付金	112,000	97,409	97,409	87.0	100.0
7 地方消費税交付金	2,022,000	1,219,020	1,219,020	60.3	100.0
8 ゴルフ場利用税交付金	32,000	14,214	14,214	44.4	100.0
9 環境性能割交付金	35,000	10,809	10,809	30.9	100.0
10 地方特例交付金	245,031	115,031	115,031	46.9	100.0
11 地方交付税	11,894,203	11,278,649	8,336,534	70.1	73.9
12 交通安全対策特別交付金	12,880	7,505	7,505	58.3	100.0
13 分担金及び負担金	387,102	223,911	112,936	29.2	50.4
14 使用料及び手数料	273,798	186,789	135,734	49.6	72.7
15 国庫支出金	6,076,474	4,284,946	1,718,854	28.3	40.1
16 県支出金	2,772,347	1,217,667	813,591	29.3	66.8
17 財産収入	42,543	38,372	34,546	81.2	90.0
18 寄附金	608,590	214,354	209,594	34.4	97.8
19 繰入金	2,224,127	422,396	422,396	19.0	100.0
20 繰越金	882,330	882,330	882,330	100.0	100.0
21 諸収入	2,916,467	343,561	114,818	3.9	33.4
22 市債	4,673,296	174,600	0	0.0	0.0
計	46,451,118	32,291,535	20,566,831	44.3	63.7

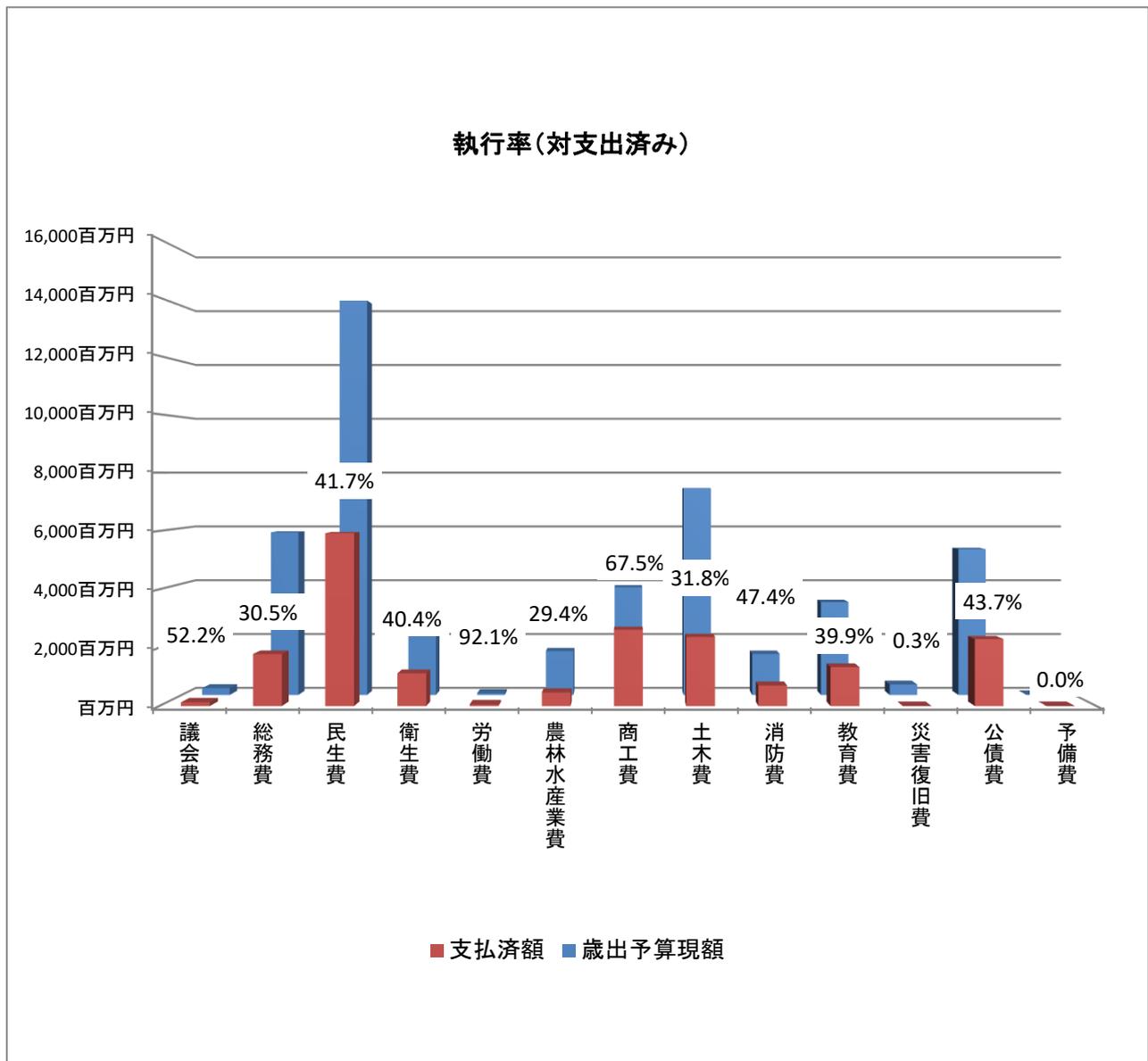


歳出執行状況

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額	支出負担行為済額	支出累計額	執行率	
				負担行為済	支出済
1 議会費	244,334	129,604	127,515	53.0	52.2
2 総務費	5,847,044	2,231,545	1,782,623	38.2	30.5
3 民生費	14,189,384	7,527,062	5,922,719	53.0	41.7
4 衛生費	2,774,230	1,504,159	1,121,282	54.2	40.4
5 労働費	60,176	55,905	55,409	92.9	92.1
6 農林水産業費	1,573,177	856,164	462,195	54.4	29.4
7 商工費	3,877,118	3,039,573	2,615,427	78.4	67.5
8 土木費	7,430,913	5,815,910	2,365,929	78.3	31.8
9 消防費	1,475,145	1,310,204	699,540	88.8	47.4
10 教育費	3,340,069	1,832,683	1,333,633	54.9	39.9
11 災害復旧費	376,996	301,576	1,220	80.0	0.3
12 公債費	5,245,095	2,292,849	2,292,849	43.7	43.7
14 予備費	17,437	0	0	0.0	0.0
計	46,451,118	26,897,234	18,780,341	57.9	40.4

※予備費は50,000千円を当初予算で計上し、予備費充用が合計で32,563千円行われたため  
 予算現額は17,437千円。



# ウ 地方交付税・財政力指数の状況

## 地方交付税交付基準額（普通交付税）、財政力指数の推移

（単位：千円）

	基準財政収入額A	基準財政需要額B	普通交付税(B-A)	財政力指数(単年)	財政力指数(3年平均)	地方交付税に係る全体的な情勢
旧町村単体合計	平成17年 10,422,939	17,620,741	7,197,802	0.592	0.592	
	平成18年 10,907,726	16,594,879	5,687,153	0.657	0.613	平成18年度 三位一体の改革実施、税源移譲、国庫補助金廃止、徴税等行革取組みに係る算定実施。
	〃(算定替) 10,937,963	18,678,870	7,740,907	0.586	0.589	
	平成19年 11,100,686	16,835,331	5,734,645	0.659	0.636	平成19年度 基本方針2006に沿った行革努力・歳出削減を前提とした需要額の見直し。
	〃(算定替) 11,131,804	19,080,103	7,948,299	0.583	0.587	
	平成20年 11,369,917	17,360,821	5,990,904	0.655	0.657	平成20年度 基本方針2007に沿った需要額の見直し。地方再生対策費と減税補てん特例交付金の創設
	〃(算定替) 11,400,950	19,537,190	8,136,240	0.584	0.584	
	平成21年 10,651,331	17,297,663	6,646,332	0.616	0.643	平成21年度 地域雇用創出推進費と減収補てん特例交付金（自動車取得税交付金減収分）の創設
	〃(算定替) 10,683,507	19,636,775	8,953,268	0.544	0.570	
	平成22年 9,734,208	17,391,747	7,657,539	0.560	0.610	平成22年度 雇用対策・地域資源活用臨時特例費の創設。地方が自由に財源を増やすため地方交付税総額の増額
	〃(算定替) 9,767,776	19,696,606	9,928,830	0.496	0.541	
	平成23年 10,025,537	17,485,149	7,459,612	0.573	0.583	平成23年度 雇用対策・地域資源活用推進費の創設。東日本大震災の被災団体に對する算定上の特例。
	〃(算定替) 10,058,433	20,256,318	10,197,885	0.497	0.512	
	平成24年 10,384,541	17,627,591	7,243,050	0.589	0.574	平成24年度 「地方再生対策費」と「地域活性化・雇用等対策」を「地域経済基盤強化・雇用等対策費」に整理統合。東日本大震災分は別枠として整理。
	〃(算定替) 10,417,508	20,409,819	9,992,311	0.510	0.501	
	平成25年 10,058,717	17,742,930	7,684,213	0.567	0.576	平成25年度 地方公務員給与費削減に係る算定、「地域の元気づくり推進費」の創設、臨時財政対策債の配分を全て財源不足方式に変更。
	〃(算定替) 10,091,371	20,594,059	10,502,688	0.490	0.499	
	平成26年 10,328,171	18,164,768	7,836,597	0.569	0.575	平成26年度 消費税率の引き上げに伴う社会保障の充実分の地方負担額の算入、「地域の元気創造事業費」の算定、市町村合併に伴う行政区域の広域化を反映した「支所費」の算定等が追加された。
	〃(算定替) 10,360,021	20,749,644	10,389,623	0.499	0.500	
	平成27年 10,998,185	19,346,134	8,347,949	0.568	0.568	平成27年度 まち・ひと・しごと創生事業費の創設、地域経済基盤強化・雇用等対策費の創設
	〃(算定替) 11,029,542	21,434,941	10,405,399	0.515	0.501	市町村合併による行政区域の広域化を反映した算定が付加された。
	平成28年 11,298,010	20,098,577	8,800,567	0.562	0.566	平成28年度 重点課題対応分の創設、トップランナー方式による算定、市町村合併に伴う行政区域の広域化を反映した算定がされた。本年度から縮減が始まり縮減率1割、縮減額141,416千円となった。
	〃(算定替) 11,329,584	21,585,788	10,256,204	0.525	0.513	
	平成29年 11,286,719	20,296,367	9,009,648	0.556	0.562	平成29年度 「まち・ひと・しごと創生事業費」「トップランナー方式」「地域経済基盤強化・雇用等対策費」等が、それぞれ算定強化された。縮減2年目を迎え縮減率3割、縮減額362,014千円となった。
	〃(算定替) 11,318,111	21,373,729	10,055,618	0.530	0.523	
	平成30年 11,283,069	20,430,301	9,147,232	0.552	0.557	平成30年度 「まち・ひと・しごと創生事業費」「トップランナー方式」「障害児保育」「市町村合併に伴う行政区域の広域化を反映した算定がされた。縮減3年目を迎え縮減率5割、縮減額568,026千円となった。
	〃(算定替) 11,314,185	21,147,569	9,833,384	0.535	0.530	
	令和元年 11,612,364	21,468,578	9,856,214	0.541	0.550	令和元年 子ども・子育て支援臨時交付金、緊急自然災害防止対策事業費の創設、防災・減災、国土強靱化の3か年緊急対策の推進等を反映した算定がされた。縮減4年目を迎え縮減率7割、縮減額796,552千円となった。
	〃(算定替) 11,643,718	21,933,375	10,289,657	0.531	0.532	
	令和2年 12,205,004	22,275,901	10,070,897	0.548	0.547	令和2年度 「地域社会再生事業費」の創設。幼児教育・保育・高等教育の無償化に係る地方負担額の算入。会計年度任用職員制度施行に伴う経費の算定等が反映された。縮減最終年、縮減率9割、縮減額1,141,636千円。
	〃(算定替) 12,236,663	22,510,169	10,273,506	0.544	0.537	
	令和3年 11,293,616	22,426,934	11,133,318	0.503	0.531	令和3年度 地域デジタル社会推進費の創設、障害者自立支援・介護給付の充実等を反映した算定。合併算定替終了。

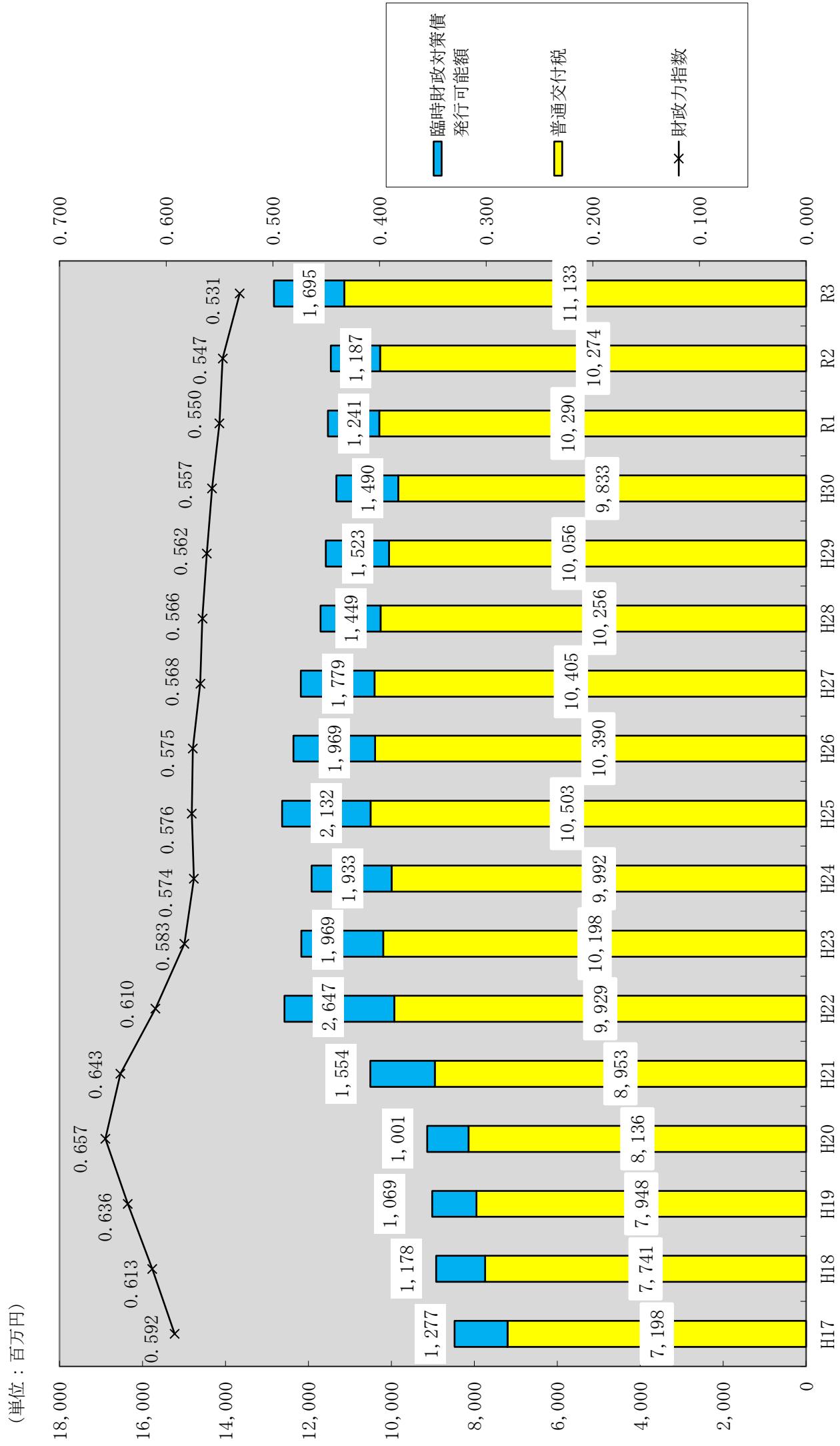
※錯誤前、調整前の数値のため実際の交付額と相違する場合があります

※合併算定替：合併前の町村が存在するものとして、それぞれ個別に算定した基準財政需要額の総計

※一本算定：安曇野市として算定した基準財政需要額

※縮減率：合併算定替では、複数の団体の行政経費を個別に算定するため、1団体で算定するよりも行政経費が高上がりになります。安曇野市においても、合併算定替の方が一本算定より基準財政需要額が高くなるため、交付税額も大きくなります。合併後10年間は、合併算定替の基準財政需要額による地方交付税が交付されますが、合併11年目（平成28年）以降は、1年毎に一本算定と合併算定替との交付税の差額を9割、7割、5割、3割、1割と縮減していき、16年目（令和3年）で初めて一本算定と同額の状態になります。この減額割合を縮減率と言います。

普通交付税・臨時財政対策債発行可能額・財政力指数の推移



## 2 財産、地方債の状況

### (1)基金現在高見込み

単位:千円

名称等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込額		
	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末	積立額	取崩額	年度末
財政調整基金	4,948,858	5,283,684	5,357,147	5,324,682	5,150,065	729,920	808,267	5,071,718
減債基金	1,720,633	1,508,856	1,513,169	1,517,003	1,520,901	202,776	0	1,723,677
基盤整備								
公共施設整備基金	2,745,076	2,296,254	2,392,817	2,538,881	2,045,403	4,646	0	2,050,049
安曇野市本庁舎等建設事業基金						0		0
地域振興基金	2,553,921	2,562,250	2,853,545	2,753,148	2,639,221	5,039	128,700	2,515,560
市営住宅整備基金						0	0	0
分取造林事業基金	2,479	2,486	2,493	4,271	4,282	8		4,290
旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	124,482	118,997	116,640	114,256	112,570	281	12,387	100,464
旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金	3,425	3,185	2,944	5,362	5,383	8		5,391
国際化								
人材育成基金								0
国際交流基金	18,494	18,060	17,582	17,002	16,895		911	15,984
社会福祉								
福祉基金	295,367	296,728	297,576	298,330	299,714	546	20,750	279,510
地域振興整備基金								0
堀金保育園建設基金								0
ふるさと・水と土保全基金	41,593	41,593	41,593	41,593	41,593			41,593
ふれあい体験館基金								0
豊科安曇野の里基金	5,422	5,438	32	32	0	611	610	1
天蚕振興基金	4,976	4,990	3,807	3,816	3,826	7		3,833
三郷農林漁業体験実習館基金	10,441	13,778	30,906	13,422	0	1		1
堀金産地形成促進施設基金	4,557	4,797	5,461	6,850	5,680	2,353	965	7,068
堀金観光開発基金	157,064	188,078	196,886	160,384	136,146	294	59,138	77,302
安曇野市森林環境譲与税基金				8,265	25,443	17,580	6,315	36,708
安曇野市山岳環境整備基金	120,366	114,376	91,097	88,851	78,670	163	31,457	47,376
産業振興								
芸術文化施設整備基金								0
豊科図書館建設事業基金								0
三郷図書館建設事業基金	208,201							0
義務教育施設整備基金								0
青少年健全育成基金	6,003	4,020	2,032	37	37	1		38
青少年交流事業支援基金	6,389	6,408	6,426	6,442	6,459	12		6,471
博物館等美術品取得及び特別企画展開催基金	17,838	17,890	17,941	17,986	18,033	33	1,000	17,066
市名誉市民田淵行男顕彰基金	1,703	1,708	1,713	1,717	1,721	4		1,725
奨学金基金	91,961	90,291	93,814	95,591	96,582	3,333	5,100	94,815
公式スポーツ施設整備基金	100,000	200,291	300,864	301,626	272,701	552	1,000	272,253
ちくにしきものみらい基金		53,558	52,992	52,132	51,630	96	1,018	50,708
霊園施設整備基金	133,775	112,247	131,119	146,053	105,601	8,764	820	113,545
合葬墓整備基金						0	0	0
その他								
ふるさとづくり基金	4,428	2,941	1,549	353	102	1	102	1
ふるさと寄附金積立金	1,158,977	1,751,108	1,892,252	2,024,526	2,344,973	603,705	722,055	2,226,623
西穂高会館維持運営基金	2,777	2,785	2,793			0		0
小計	14,489,206	14,706,797	15,427,190	15,542,612	14,983,631	1,580,734	1,800,595	14,763,770
土地開発基金								
現金・預金	197,479	198,055	198,621	199,124	199,636	365	0	200,001
土地	91,305	52,909	52,909	52,909	52,909	0	0	52,909
国民健康保険支払準備基金	638,411	850,271	782,273	500,748	537,035	40,917	268,000	309,952
上川手財産区基金	9,882	10,860	10,891	10,501	11,845	20	500	11,365
北の沢山林財産区基金	10,258	10,138	9,717	11,411	11,740	171	0	11,911
有明山林財産区基金	22,181	22,246	22,310	25,228	25,592	347	0	25,939
富士尾沢山林財産区基金	2,882	2,768	2,776	3,104	3,301	206	0	3,507
穂高山林財産区基金	2,210	1,673	1,977	2,451	2,781	405	0	3,186
安曇野市外1市山林組合基金						0	0	0
旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金						0	0	0
特別会計								
介護保険支払準備基金	395,201	465,045	518,821	646,970	736,709	127,285	113,452	750,542
介護従事者処遇改善臨時特例基金						0	0	0
保養施設経営基金						0	0	0
農業集落排水事業建設基金						0	0	0
公共下水道建設基金						0	0	0
小計	1,081,024	1,363,001	1,348,764	1,200,413	1,329,002	169,351	381,952	1,116,401
合計	15,859,015	16,320,762	17,027,485	16,995,058	16,565,177	1,750,450	2,182,547	16,133,080

※ 千円未満四捨五入のため合計額が一致しない場合があります。

## (2) 地方債現在高見込み

(単位：千円)

区 分	前々年度末 現在高	前年度末 現在高見込額	当該年度中増減見込		当該年度末 現在高見込額
			当該年度中 起債見込額	当該年度中 元金償還見込額	
1 普通債	24,044,110	26,685,486	1,658,100	3,545,173	24,798,413
(1) 総務	6,716,658	6,200,114		1,193,820	5,006,294
(2) 民生	3,923,607	3,940,958	533,600	418,157	4,056,401
(3) 衛生	2,960,250	4,693,446		343,282	4,350,164
(4) 労働					
(5) 農林水産	634,705	625,901	40,800	113,063	553,638
(6) 商工	985,870	998,880		100,080	898,800
(7) 土木	2,946,751	5,044,830	897,400	533,029	5,409,201
(8) 消防	348,450	265,424	32,500	86,470	211,454
(9) 教育	5,527,819	4,915,933	153,800	757,272	4,312,461
2 災害復旧債					
(1) 土木					
(2) 農林					
3 その他	16,298,883	16,351,035	1,694,896	1,550,928	16,495,003
(1) 減収補てん債		126,594		6,991	119,603
(2) 減税補てん債	184,880	132,242		66,018	66,224
(3) 臨時税収補てん債					
(4) 臨時財政対策債	16,114,003	16,092,199	1,694,896	1,477,919	16,309,176
合 計	40,342,993	43,036,521	3,352,996	5,096,101	41,293,416

## 公営企業の業務状況（令和3年4月から令和3年9月まで）

### 1 水道事業の概要

#### （1）業務量

事 項	令和3年度 上半期	令和2年度 上半期	比 較	
			増減	比率
給水戸数	39,994 戸	40,283 戸	△289 戸	99.3%
期間総給水量	4,767,800 m <sup>3</sup>	4,799,115 m <sup>3</sup>	△31,315 m <sup>3</sup>	99.3%
1日平均給水量	26,053 m <sup>3</sup>	26,218 m <sup>3</sup>	△165 m <sup>3</sup>	99.4%

#### （2）建設改良費等

既存管路（老朽管）布設替え工事は、豊科、穂高、明科地域の市道6路線において2,190mを実施しています。

主要管路整備導・配水管布設替工事は、豊科・三郷・穂高地域の重要給水施設等への管路の耐震化3,010mを実施しています。

上原4号井に濁度計を設置し地震災害に備えます。

水道法と安曇野市水道事業水質検査計画に基づく浄水と原水の水質検査を実施しています。

## 2 水道事業会計の経理状況

令和3年度（4月1日から9月30日まで）の水道事業会計予算の執行状況は以下のとおりです。

### (1) 収益的収支

#### ア 収入

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)	
営業収益	給水収益	1,856,096	929,008	50.05%
	受託工事収益	6,950	1,498	21.55%
	その他営業収益	169,872	73,380	43.20%
営業外収益	受取利息及び配当金	1,500	0	0.00%
	雑収益	126	741	588.10%
	長期前受金戻入	267,928	3	0.00%
合 計	2,302,472	1,004,630	43.63%	

#### イ 支出

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)	
営業費用	原水及び浄水費	193,568	95,365	49.27%
	配水及び給水費	252,716	111,368	44.07%
	受託工事費	6,950	2,486	35.77%
	総係費	174,511	124,351	71.26%
	減価償却費	1,053,560	0	0.00%
	資産減耗費	12,119	0	0.00%
	その他営業費用	14	0	0.00%
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	107,288	55,302	51.55%
	消費税及び地方消費税	83,684	0	0.00%
	過年度損益修正損	2,000	451	22.55%
予 備 費	10,000	0	0.00%	
合 計	1,896,410	389,323	20.53%	

### (2) 資本的収支

#### ア 収入

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
負 担 金	116,329	27,300	23.47%
補 助 金	45,650	0	0.00%
合 計	161,979	27,300	16.85%

#### イ 支出

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)	
建設改良費	配水設備工事費	850,815	515,488	60.59%
	量水器費	1,131	0	0.00%
	固定資産購入費	2,516	2,233	88.75%
	改良費	1,015	0	0.00%
企業債償還金	596,413	296,536	49.72%	
合 計	1,451,890	814,257	56.08%	

(3) 水道事業の損益状況 (令和3年4月1日から9月30日まで)

		(単位：千円)
1	営業収益	918,641
2	営業費用	
	(減価償却費については、予定額の2分の1を計上)	715,381
	営業利益	203,260
3	営業外収益	134,703
	(長期前受金戻入については、予定額の2分の1を計上)	
4	営業外費用	55,752
	経常利益	78,951
5	特別利益	282,211
6	特別損失	0
	当年度純利益(上半期)	0
	前年度繰越利益剰余金	282,211
	その他未処分利益剰余金変動額	900
	当年度未処分利益剰余金(上半期)	0
		283,111

(4) 水道事業の貸借対照表 (令和3年9月30日)

資 産 の 部

1 固定資産

	千円	千円	千円	千円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		567,830		
ロ 建物	1,124,859			
減価償却累計額	<u>△ 448,675</u>	676,184		
ハ 構築物	38,660,278			
減価償却累計額	<u>△ 18,710,525</u>	19,949,753		
ニ 機械及び装置	6,284,180			
減価償却累計額	<u>△ 4,545,218</u>	1,738,962		
ホ 車両及び運搬具	28,799			
減価償却累計額	<u>△ 23,285</u>	5,514		
ヘ 工具器具及び備品	47,048			
減価償却累計額	<u>△ 38,897</u>	8,151		
ト 建設仮勘定		<u>118,660</u>		
有形固定資産合計			23,065,054	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		0		
ロ 電話加入権		<u>161</u>		
無形固定資産合計			161	
(3) 投資				
イ 投資その他資産		<u>66</u>		
投資合計			<u>66</u>	
固定資産合計				23,065,281

(注) 固定資産については、年度末に予定している減価償却費の2分の1相当額を減価償却累計額に計上しています。

2 流動資産

(1) 現金預金			2,682,302	
(2) 未収金		178,340		
貸倒引当金		<u>△ 2,200</u>	176,140	
(3) 貯蔵品			7,307	
(4) 前払金			59,434	
(5) その他流動資産			<u>28,422</u>	
流動資産合計				<u>2,953,605</u>
資産合計				<u><u>26,018,886</u></u>

固定資産の状況

固定資産における上半期分減価償却費計上額は526,780千円で、償却後の固定資産計上額は23,065,281千円となります。

流動資産の状況

9月末現在における現金預金の保有額は2,682,302千円です。また、未収金については178,340千円となっています。

## 負債の部

	千円	千円	千円	千円
<b>3 固定負債</b>				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			5,025,227	
固定負債合計				5,025,227
<b>4 流動負債</b>				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			299,876	
(2) 引当金				
イ 修繕引当金		5,790		
引当金合計			5,790	
(3) 前受金			369	
(4) その他流動負債			87,661	
流動負債合計				393,696
<b>5 繰延収益</b>				
長期前受金			12,484,528	
収益化累計額			△ 6,796,439	
繰延収益合計				5,688,089
負債合計				11,107,012

(注) 繰延収益については、  
年度末に予定している長  
期前受金戻入の2分の1相  
当額を収益化累計額に計  
上しています。

## 資本の部

<b>6 資本金</b>				12,597,496
<b>7 剰余金</b>				
(1) 資本剰余金				
イ 受贈財産評価額		2,757		
ロ 工事負担金		186,630		
ハ その他資本剰余金		3,957		
ニ 補助金		645		
資本剰余金合計			193,989	
(2) 利益剰余金				
イ 建設改良積立金		1,786,478		
ロ 高家配水場等施設改良積立金		50,800		
ハ 当年度未処分利益剰余金（上半期）		283,111		
利益剰余金合計			2,120,389	
剰余金合計				2,314,378
資本合計				14,911,874
負債資本合計				26,018,886

### 固定負債・流動負債の状況

企業債は9月に296,536千円の定期償還を行い、3月には299,876千円の定期償還を行う予定です。

### 利益剰余金の状況

当年度未処分利益剰余金（上半期）は、283,111千円となります。

### 3 下水道事業の概要

#### (1) 業務量

事 項	令和3年度 上半期	令和2年度 上半期	比 較	
			増減	比率
排水戸数	31,280 戸	30,966 戸	314 戸	101.0%
期間総汚水量	4,143,690 m <sup>3</sup>	4,139,533 m <sup>3</sup>	4,157 m <sup>3</sup>	100.1%
1日平均汚水量	22,643 m <sup>3</sup>	22,620 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup>	100.1%

#### (2) 建設改良費等

下水道ストックマネジメント計画に基づき、汚水処理場とマンホールポンプ場の機械設備等の運転状態を常時監視、異常発生時には管理者へ通報する広域監視装置更新工事を実施しています。

公共下水道明科処理区と農業集落排水生野地区を流域下水道の処理区に編入し統合を進めるため、法に定める下水道事業計画の変更手続きに必要な計画書の作成及び農業集落排水施設の統合を進める再編計画の基礎とする機能診断調査、最適整備構想計画策定業務を実施しています。

令和2年度に整備された下水道管渠施設及び排水設備、施設の維持管理履歴データの作成更新業務を実施しています。

#### 4 下水道事業会計の経理状況

令和3年度（4月1日から9月30日まで）の執行状況は以下のとおりです。

##### (1) 収益的収支

###### ア 収入

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
営業収益	下水道使用料	1,817,744	887,906	48.85%
	他会計負担金	1,829	0	0.00%
	受託工事収益	6,435	209	3.25%
	その他営業収益	21,362	7,155	33.49%
営業外収益	他会計負担金	1,663,451	1,257,049	75.57%
	長期前受金戻入	778,207	0	0.00%
	雑収益	8,674	1	0.01%
合 計		4,297,702	2,152,320	50.08%

###### イ 支出

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
営業費用	管きよ費	1,019,085	404,326	39.68%
	処理場費	40,065	34,409	85.88%
	浄化槽費	2,278	563	24.71%
	農業集落排水費	67,372	56,954	84.54%
	受託工事費	6,435	190	2.95%
	総係費	122,768	20,299	16.53%
	減価償却費	1,861,830	0	0.00%
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	494,355	253,117	51.20%
	消費税及び地方消費税	62,404	0	0.00%
	過年度損益修正損	700	192	27.43%
予 備 費		2,000	0	0.00%
合 計		3,679,292	770,050	20.93%

##### (2) 資本的収支

###### ア 収入

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
企 業 債		553,800	0	0.00%
負 担 金		288,304	280,471	97.28%
補 助 金		39,900		
合 計		882,004	280,471	31.80%

###### イ 支出

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
建設改良費	管きよ工事費	104,091	70,763	67.98%
	処理場工事費	2,697	2,497	92.58%
	農業集落排水工事費	4,158	4,015	96.56%
	流域下水道事業費	99,276	64,284	64.75%
	排水設備工事費	726	66	9.09%
企 業 債 償 還 金		2,452,736	1,220,353	49.75%
合 計		2,663,684	1,361,978	51.13%

(3) 下水道事業の損益状況 (令和3年4月1日から9月30日まで)

		(単位：千円)
1 営業収益	814,695	
2 営業費用		
(減価償却費については、予定額の2分の1を計上)	1,228,067	
営業損失		413,372
3 営業外収益	1,646,154	
(長期前受金戻入については、予定額の2分の1を計上)		
4 営業外費用	253,309	1,392,845
経常利益		979,473
当年度純利益 (上半期)		979,473
前年度繰越利益剰余金		197
その他未処分利益剰余金変動額		0
当年度未処分利益剰余金 (上半期)		979,670

## (4) 下水道事業の貸借対照表(令和3年9月30日)

## 資 産 の 部

## 1 固定資産

	千円	千円	千円	千円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		397,447		
ロ 建物	662,284			
減価償却累計額	△ 97,907	564,377		
ハ 構築物	61,063,180			
減価償却累計額	△ 8,567,310	52,495,870		
ニ 機械及び装置	1,575,129			
減価償却累計額	△ 934,483	640,646		
ホ 車両及び運搬具	2,827			
減価償却累計額	△ 2,685	142		
ヘ 工具器具及び備品	16,930			
減価償却累計額	△ 15,819	1,111		
ト 建設仮勘定		310		
有形固定資産合計			54,099,903	
(2) 無形固定資産				
イ 地上権		668		
ロ 施設利用権		4,304,862		
無形固定資産合計			4,305,530	
(3) 投資				
イ 投資その他資産		0		
投資合計			0	
固定資産合計				58,405,433

(注) 固定資産については、年度末に予定している減価償却費の2分の1相当額を減価償却累計額に計上しています。

## 2 流動資産

(1) 現金預金			1,260,505	
(2) 未収金		215,977		
貸倒引当金		△ 2,100	213,877	
(3) 貯蔵品			41	
(4) 前払金			89,722	
(5) その他流動資産			32,186	
流動資産合計				1,596,331
資産合計				60,001,764

## 固定資産の状況

固定資産における上半期分減価償却費計上額は930,915千円で、償却後の固定資産計上額は58,405,433千円となります。

## 流動資産の状況

9月末現在における現金預金の保有額は1,260,505千円です。また、未収金については215,977千円となっています。

## 負債の部

	千円	千円	千円	千円
<b>3 固定負債</b>				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			24,696,905	
固定負債合計				24,696,905
<b>4 流動負債</b>				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			1,233,096	
(2) 引当金				
イ 修繕引当金		0		
引当金合計			0	
(3) 未払金			0	
(4) その他流動負債			81,381	
流動負債合計				1,314,477
<b>5 繰延収益</b>				
長期前受金			28,662,600	
収益化累計額			△ 4,534,109	
繰延収益合計				24,128,491
負債合計				50,139,873

(注) 繰延収益については、年度末に予定している長期前受金戻入の2分の1相当額を収益化累計額に計上しています。

## 資本の部

<b>6 資本金</b>				7,856,073
<b>7 剰余金</b>				
(1) 資本剰余金				
イ 受贈財産評価額		166		
ロ 補助金		198,641		
ハ 工事負担金		152,922		
ニ その他資本剰余金		45,719		
資本剰余金合計			397,448	
(2) 利益剰余金				
イ 減債積立金		628,700		
ロ 当年度未処分利益剰余金		979,670		
利益剰余金合計			1,608,370	
剰余金合計				2,005,818
資本合計				9,861,891
負債資本合計				60,001,764

### 固定負債・流動負債の状況

企業債は9月に1,220,353千円の定期償還を行い、3月には1,233,096千円の定期償還を行う予定です。

### 利益剰余金の状況

当年度未処分利益剰余金（上半期）は、979,670千円となります。

## 4 令和2年度決算状況

### (1) 普通会計の決算状況

#### ア 地方財政状況調査（決算統計）

地方財政状況調査とは、地方自治法第252条の17の5に基づいて行われる調査で、地方財政法第30条の2の規定により、国会に報告されるとともに公表されます。

地方財政状況調査は、当該年度の決算に基づいて行われますが、地方公共団体には多様な会計が存在していることから、「普通会計」と「公営事業会計」の2つに分けて調査することとされています。

なお、地方公共団体間の画一性をとるため、統計的な要素を加味しながら調査するため、各会計毎の実決算額と地方財政状況調査における決算額には差異があるとともに、目的別、性質別経費の計上方法にも違いがあります。これは、全国統一の方法により、集計を行うことにより、全国的に地方公共団体間の比較分析を行うためです。

また、公営事業会計のうちの公営企業会計については、別に調査されています。安曇野市においては、水道事業、下水道事業、産業団地造成事業特別会計、有明荘特別会計が該当します。

ここでは、地方財政状況調査対象のうち、普通会計を中心にその概要を説明します。

#### イ 地方財政状況調査対象会計の状況

(単位：千円)

	実決算額			地方財政状況調査の決算額				摘 要 (実決算額と違いが生じる要素)
	歳入決算額	歳出決算額	収 支	会計	歳入決算額	歳出決算額	収 支	
一般会計	56,291,184	55,408,834	882,350	普通会計	56,282,503	55,400,153	882,350	後期高齢者医療広域連合で経理する職員人件費分(8,682)を控除
国民健康保険特別会計	9,290,141	9,211,215	78,926	同左	9,381,865	9,302,937	78,928	国民健康保険事業に対応する人件費(91,724)を追加
後期高齢者医療特別会計	1,298,830	1,273,151	25,678	同左	1,323,890	1,298,213	25,677	後期高齢者医療事業に対応する人件費(56,104)を追加 後期高齢者医療広域連合で経理する事務費分(31,043)を控除
介護保険特別会計	9,549,123	9,402,737	146,386	保険事業勘定	9,642,421	9,496,033	146,388	介護保険事業に対応する人件費(113,702)を追加
				介護サービス事業勘定	20,406	20,406	0	介護サービス分を分離
上川手山林財産区特別会計	2,903	1,653	1,250	財産区	7,210	3,825	3,385	
北の沢山林財産区特別会計	1,069	644	425					
有明山山林財産区特別会計	1,204	580	623					
富士尾沢山林財産区特別会計	1,013	400	612					
穂高山林財産区特別会計	1,019	544	474					

※実決算額は会計課作成の実質収支に関する調書より転記

※実決算額と地方財政状況調査の決算額において、それぞれ端数処理の方法が異なるため、実決算額から控除、追加した歳入及び歳出決算額の合計や収支が一致しない場合があります。

## ウ 地方財政状況調査等による普通会計の決算状況

令和2年度普通会計歳入決算額は、前年度対比31.0%増の562億8,200万円、歳出決算額は前年度対比31.4%増の554億円で、形式収支は8億8,200万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源6,200万円を除いた実質収支は、8億2,000万円の黒字となりました。

### 【歳入】

個人市民税については、給与所得者の増加により1,800万円の増額、固定資産税では、令和元年建の新・増築家屋の増加、設備投資等による償却資産により6,400万円の増額、法人市民税については、特に製造業の申告納税額の減により、6億700万円の減額となりました。

譲与税関係では、地方消費税交付金が3億9,400万円の増額となりました。

地方交付税は、社会福祉費が5億6,400万円増額はあったものの、平成28年度から合併算定替と一本算定との差額の縮減が始まり、令和2年度は90%の縮減になったことなどから全体では9,700万円の減額となりました。

使用料、手数料、分担金及び負担金については、保育児童保育料1億8,000万円、公営住宅使用料400万円が減額となったことなどから全体では2億2,600万円の減額となりました。

国庫支出金については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金14億1,100万円、特別定額給付金給付事業費補助金97億6,200万円が増額となったことなどから全体では115億4,800万円の増額となりました。

県支出金については、地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金1億9,200万円、長野県地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等整備分）補助金5,500万円の増額となったことなどから1億6,000万円の増額となりました。

市債については、新ごみ処理施設建設事業10億9,100万円の増となったことなどから、全体では2億3,700万円の増額となりました。

諸収入等については、市制度資金元金13億円が増となったことなどから全体では20億8,800万円の増額となりました。

### 歳入決算額

(単位：千円)

	地方税	譲与税等	地方交付税	分担・負担 使用・手数料	国県支出金 交安交付金	市債	諸収入等	合計
令和2年度	11,939,348	3,004,070	10,938,127	627,635	18,190,369	4,946,022	6,636,932	56,282,503
令和元年度	12,509,405	2,835,326	11,035,133	854,034	6,479,620	4,708,091	4,548,776	42,970,385
比較	△ 570,057	168,744	△ 97,006	△ 226,399	11,710,749	237,931	2,088,156	13,312,118

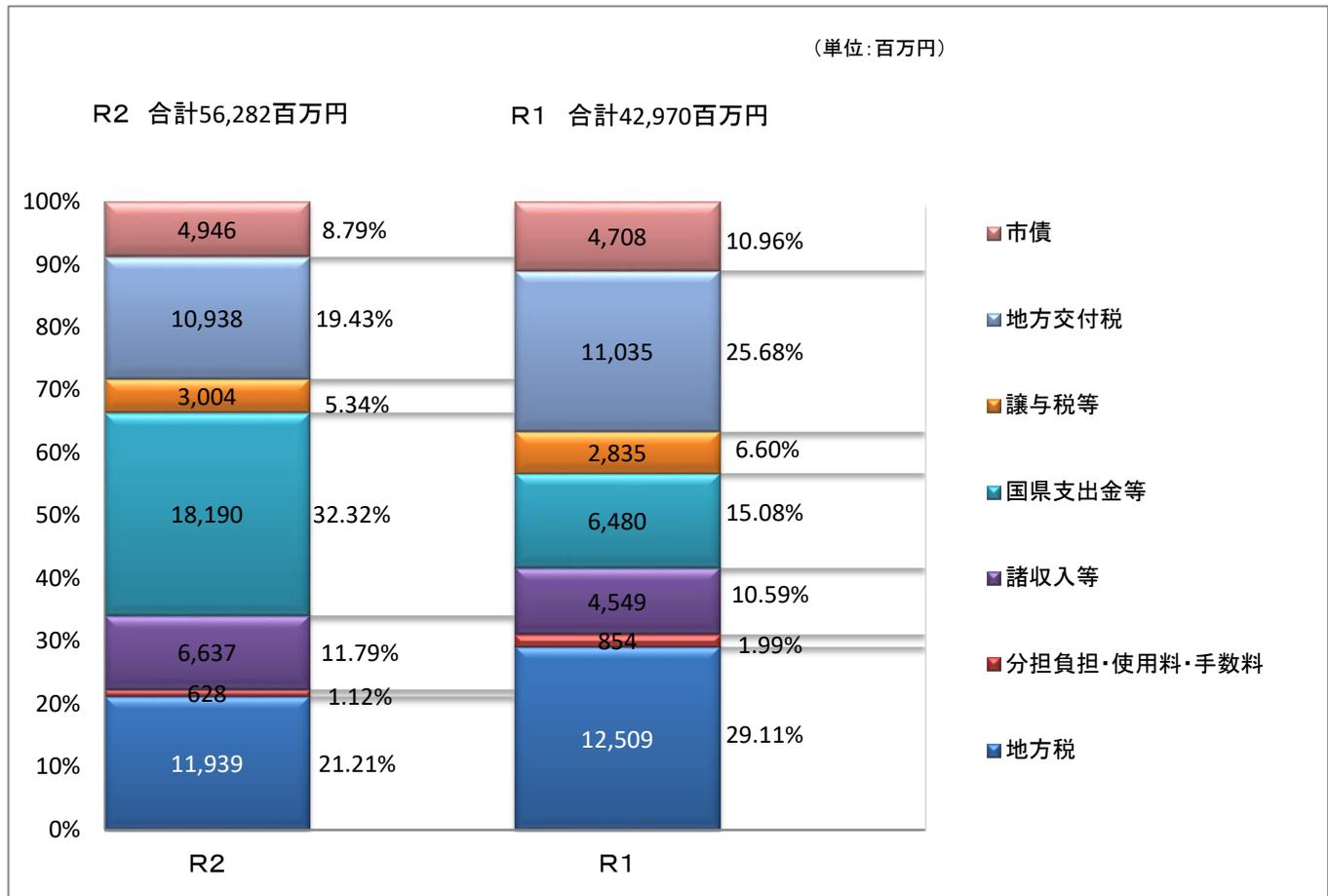
歳入款名	増減	主な増減内容(増減額)
地方税	△ 570,057	個人市民税(1,800万円)、固定資産税(6,400万円)、法人市民税(△6億700万円)
譲与税等	168,744	地方消費税交付金(3億9,400万円)、配当割交付金(△200万円)、株式等譲渡所得割交付金(2,500万円)、自動車取得税交付金(△6,800万円)、地方特例交付金(△3億400万円)
地方交付税	△ 97,006	<b>【普通交付税】</b> 基準財政収入額：主な費目 地方交付税交付金の増額(6億5,400万円) 固定資産税の増額(1億円)  基準財政需要額：主な費目 社会福祉費の増額(5億6,400万円) (新規)地域社会再生事業費(2億3,300万円) 合併算定替縮減率：90%(△3億4,500万円) <b>【特別交付税】</b> (2,800万円)
国県支出金	11,710,749	国庫支出金：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(14億1,100万円)、特別定額給付金給付事業費補助金(97億6,200万円) 県支出金：地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金(1億9,200万円)、長野県地域医療介護総合確保基金事業(介護施設等整備分)補助金(5,500万円)
市債	237,931	新ごみ処理施設建設事業(10億9,100万円)、保育所建設事業(△3億1,000万円)

※譲与税等は地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金等を合算した額です。

※国県支出金は国及び県支出金、交通安全対策特別交付金(交安交付金)を合算した額です。

※諸収入等は財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入を合算した額です。

歳入決算の構成状況



※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。  
 ※構成比については、四捨五入により100%とならない場合があります。

【歳出】

総務費については、参議院議員選挙費4,400万円の減などに対し、特別定額給付金給付事業97億6,200万円、寄附採納事務2億2,400万円の増などにより、100億3,000万円の増額になりました。

民生費については、安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業2億5,200万円の増などに対し、明科南認定こども園建設事業5億3,400万円、穂高認定こども園改修事業2億4,600万円の減などにより、1,700万円の減額になりました。

衛生費については、水道事業出資金2億500万円の減などに対し、穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業14億300万円、水道事業負担金1億2,400万円の増などにより、11億8,500万円の増額になりました。

農林水産業費については、農道舗装工事（公共施設等適正管理推進事業）2,700万円の増などに対し、農業用排水路工事・農道舗装工事（団体営）3,200万円、林業振興総務事業2,900万円の減などにより、9,400万円の減額になりました。

商工費については、観光イベント事業2,300万円の減などに対し、制度資金貸付事業16億6,400万円、産業団地特別会計繰出金（建設）4億2,200万円の増などにより、28億2,300万円の増額になりました。

土木費については、公園施設長寿命化事業3,800万円の増などに対し、公園総務費8,600万円、市道新設改良事業（合併特例債）5,800万円の減などにより、4億6,700万円の減額になりました。

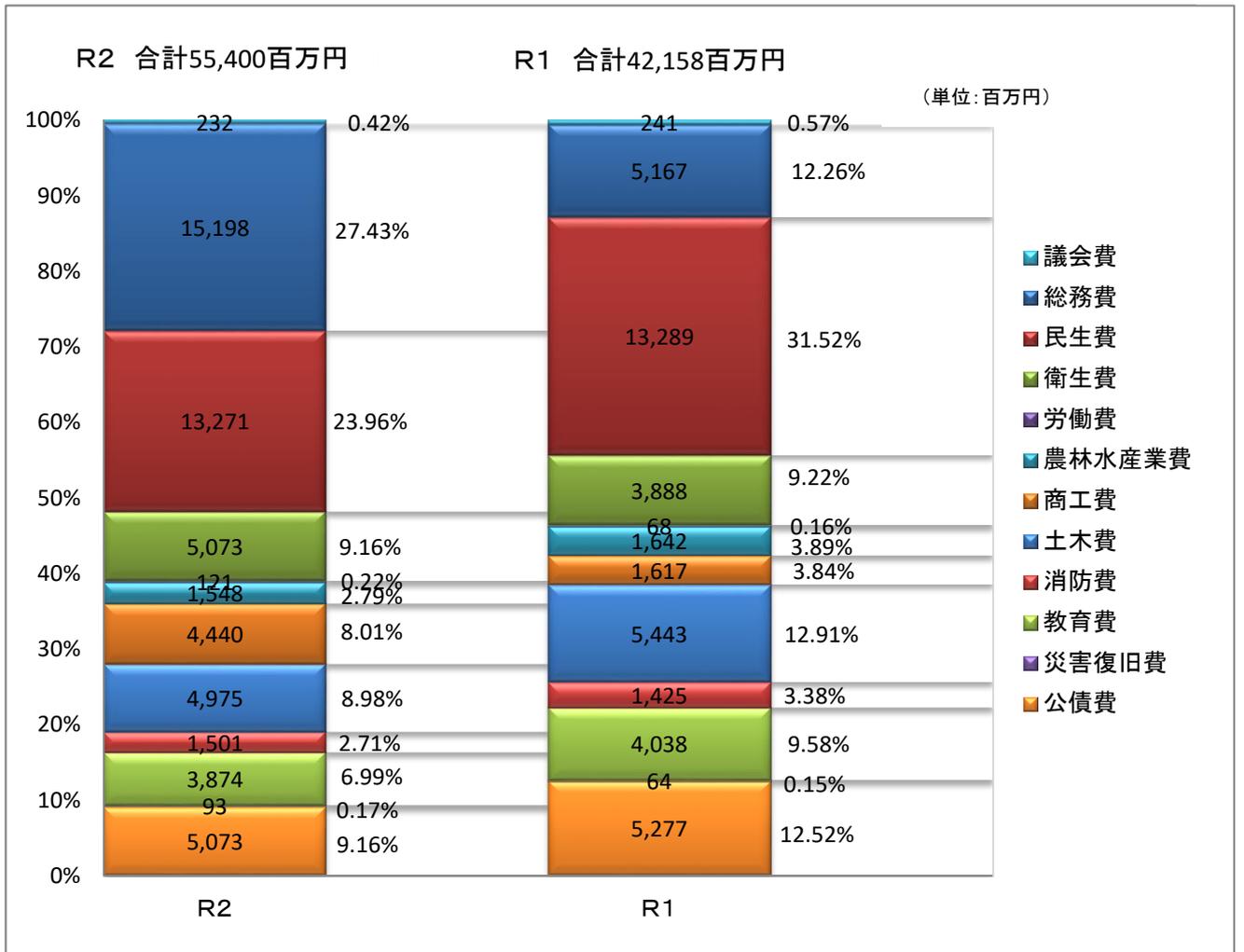
消防費については、消防施設維持整備事業800万円の減などに対し、常備消防負担金事業2,300万円、消防団詰所更新・統廃合事業1,300万円の増などにより、7,600万円の増額になりました。

教育費については、学校システム管理事業2億3,900万円の増などに対し、穂高南小学校施設改修事業4億7,300万円、明北小学校施設改修事業4,800万円の減などにより、1億6,400万円の減額になりました。

歳出決算額（目的別）（単位：千円）

款	令和2年度	令和元年度	比較	主な増減内容（増減額）		
議会費	232,084	240,911	△ 8,827	議員共済組合納付金△100万円		
総務費	15,198,180	5,167,290	10,030,890	衆議院議員選挙費△4,400万円	特別定額給付金給付事業97億6,200万円	寄附採納事務2億2,400万円
民生費	13,271,374	13,288,782	△ 17,408	安曇野子育て世帯支援臨時給付金事業2億5,200万円	明科南認定こども園建設事業△5億3,400万円	穂高認定こども園改修事業△2億4,600万円
衛生費	5,073,461	3,888,014	1,185,447	水道事業出資金△2億500万円	新ごみ処理施設建設事業14億300万円	水道事業負担金1億2,400万円
労働費	121,200	67,779	53,421	勤労者福祉センター管理事業2,300万円		
農林水産業費	1,547,536	1,641,976	△ 94,440	農道舗装工事（公共施設等適正管理推進事業）2,700万円	農業用排水路工事・農道舗装工事（団体営）△3,200万円	林業振興総務事業△2,900万円
商工費	4,440,402	1,617,076	2,823,326	観光イベント事業△2,300万円	制度資金貸付事業16億6,400万円	産業団地特別会計繰出金（建設）4億2,200万円
土木費	4,975,235	5,442,800	△ 467,565	公園施設長寿命化事業3,800万円	公園総務費△8,600万円	市道新設改良事業（合併特例債）△5,800万円
消防費	1,501,144	1,424,679	76,465	消防施設維持整備事業△800万円	常備消防負担金事業2,300万円	消防団詰所更新・統廃合事業1,300万円
教育費	3,874,262	4,038,287	△ 164,025	学校システム管理事業2億3,900万円	穂高南小学校施設改修事業△4億7,300万円	明北小学校施設改修事業△4,800万円
災害復旧費	92,664	64,212	28,452	林道災害復旧事業1,500万円	耕地災害復旧事業2,300万円	道路災害復旧事業2,500万円
公債費	5,072,611	5,276,860	△ 204,249	長期借入金償還元金△1億6,800万円	長期借入金償還利子△3,500万円	
合計	55,400,153	42,158,666	13,241,487			

※P6の歳出決算額（性質別）の主な増減内容に記載した事業等が同一であっても金額が異なる場合があります。



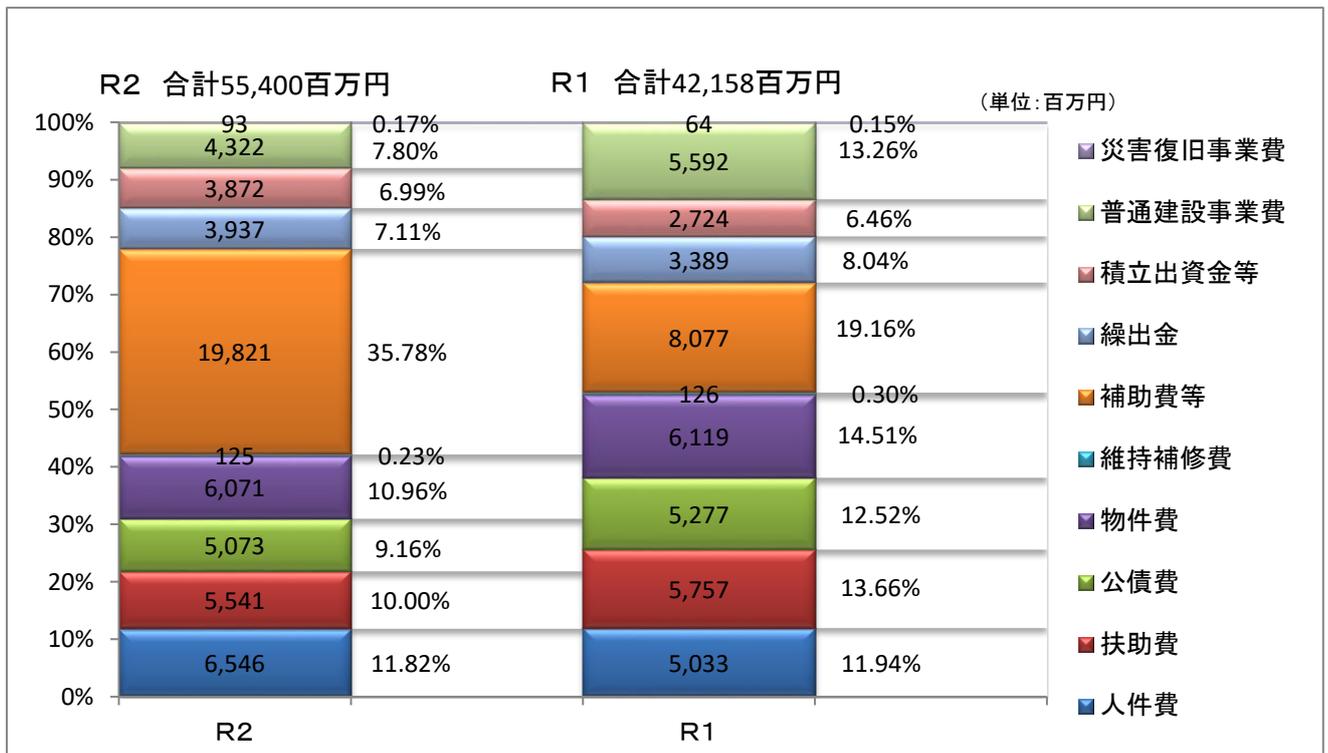
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。  
 ※構成比については、四捨五入により100%とならない場合があります。

歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

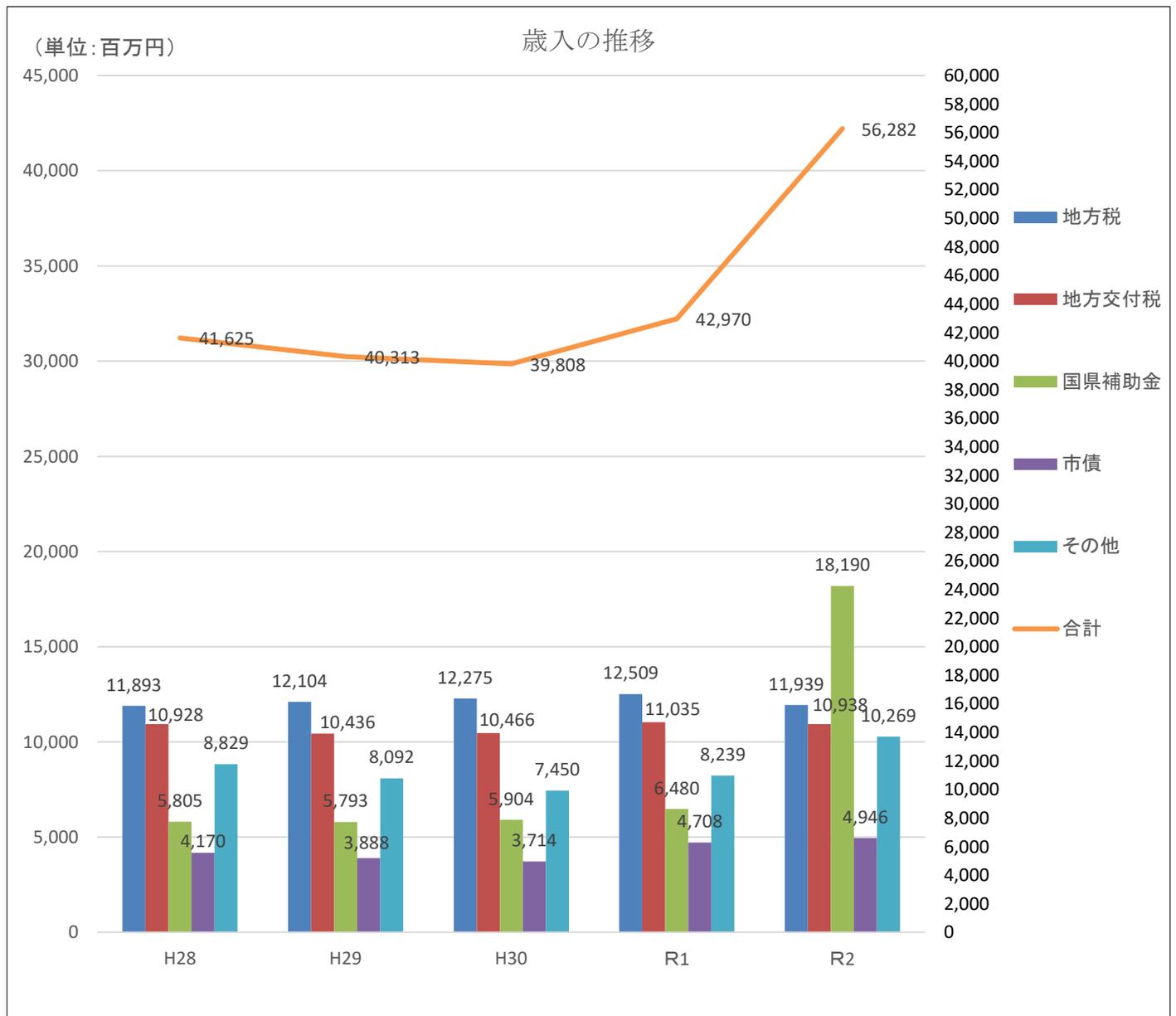
区分	令和2年度	令和元年度	比較	主な増減内容（増減額）			
人件費	6,546,007	5,032,829	1,513,178				
扶助費	5,540,630	5,756,968	△216,338	公立認定子ども園管理費△6億800万円	児童扶養手当給付事業△8,400万円	安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業2億5,000万円	子育て世帯への臨時特別給付金事業1億1,900万円
公債費	5,072,611	5,276,860	△204,249				
物件費	6,070,546	6,118,606	△48,060	学校支援員配置事業△1億,3,200万円	給食センター総務費△1億500万円	安曇野市プレミアム付商品券事業3億1,600万円	学校システム管理事業2億4,000万円
維持補修費	124,686	126,364	△1,678	三郷堆肥センター運営事業△600万円	消防施設維持整備事業△400万円		
補助費等	19,821,197	8,077,425	11,743,772	特別定額給付金給付事業97億6,200万円	穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業14億300万円	穂高広域施設組合事業△2億3,000万円	公園総務費△8,600万円
繰出金	3,937,273	3,389,047	548,226	産業団地特別会計繰出金（建設）4億2,200万円	後期高齢者医療事業7,900万円		
積立出資金等	3,872,272	2,723,916	1,148,356	制度資金貸付事業13億円	森林経営管理等整備事業（積立金）1,800万円	水道事業出資金△2億500万円	林業振興総務事業（積立金）△1,300万円
普通建設事業費	4,322,267	5,592,439	△1,270,172	【明許】小学校冷房設備等整備事業△7億900万円	明科南認定こども園建設事業△5億2,600万円	穂高南小学校施設改修事業△4億7,300万円	
災害復旧事業費	92,664	64,212	28,452	林道災害復旧事業△3,100万円	耕地災害復旧事業△2,000万円		
合計	55,400,153	42,158,666	13,241,487				

※P4の歳出決算額（目的別）の主な増減内容に記載した事業等が同一であっても金額が異なる場合があります。



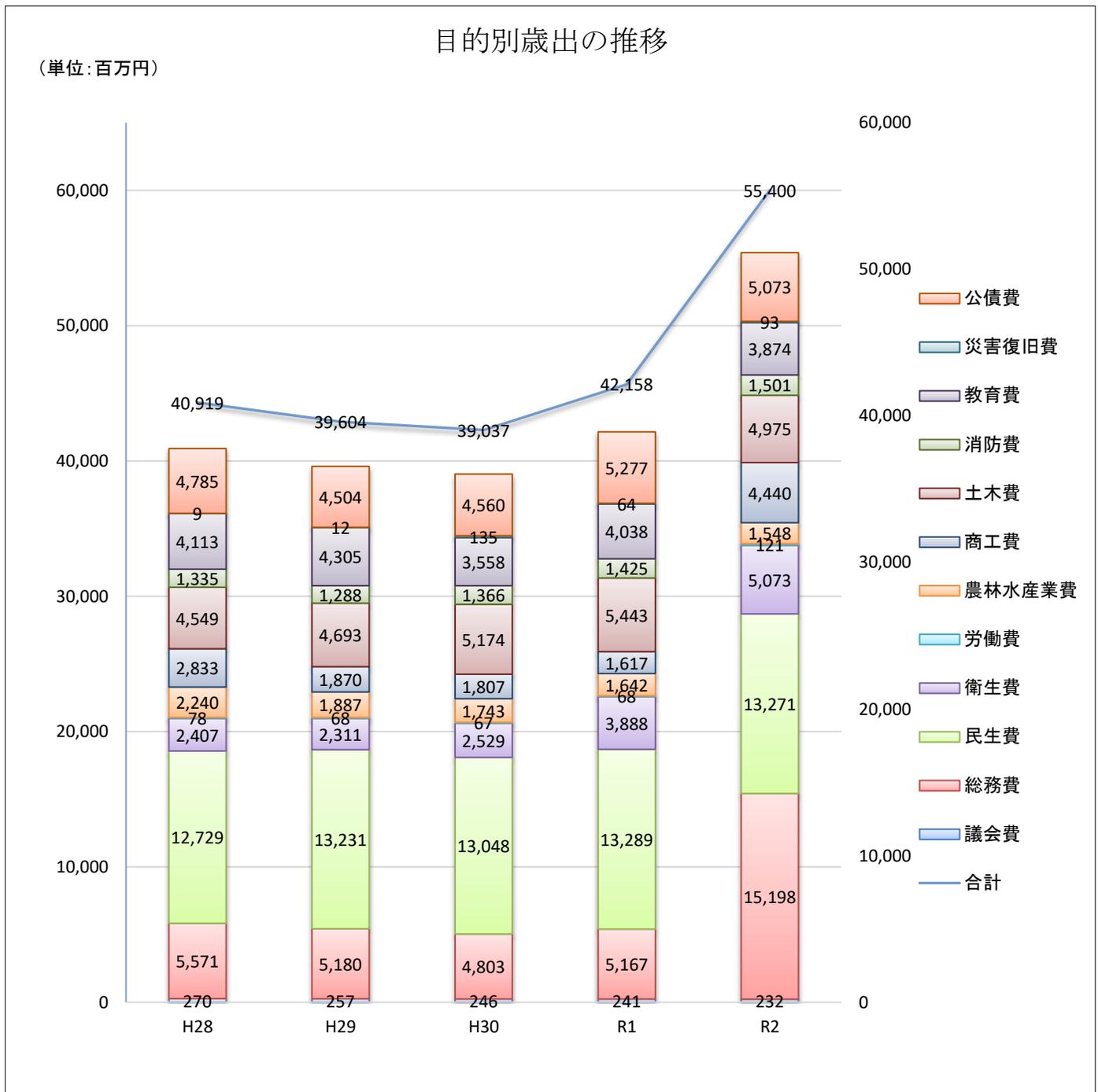
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。  
 ※構成比については、四捨五入により100%とならない場合があります。

## エ 普通会計決算額等の推移状況



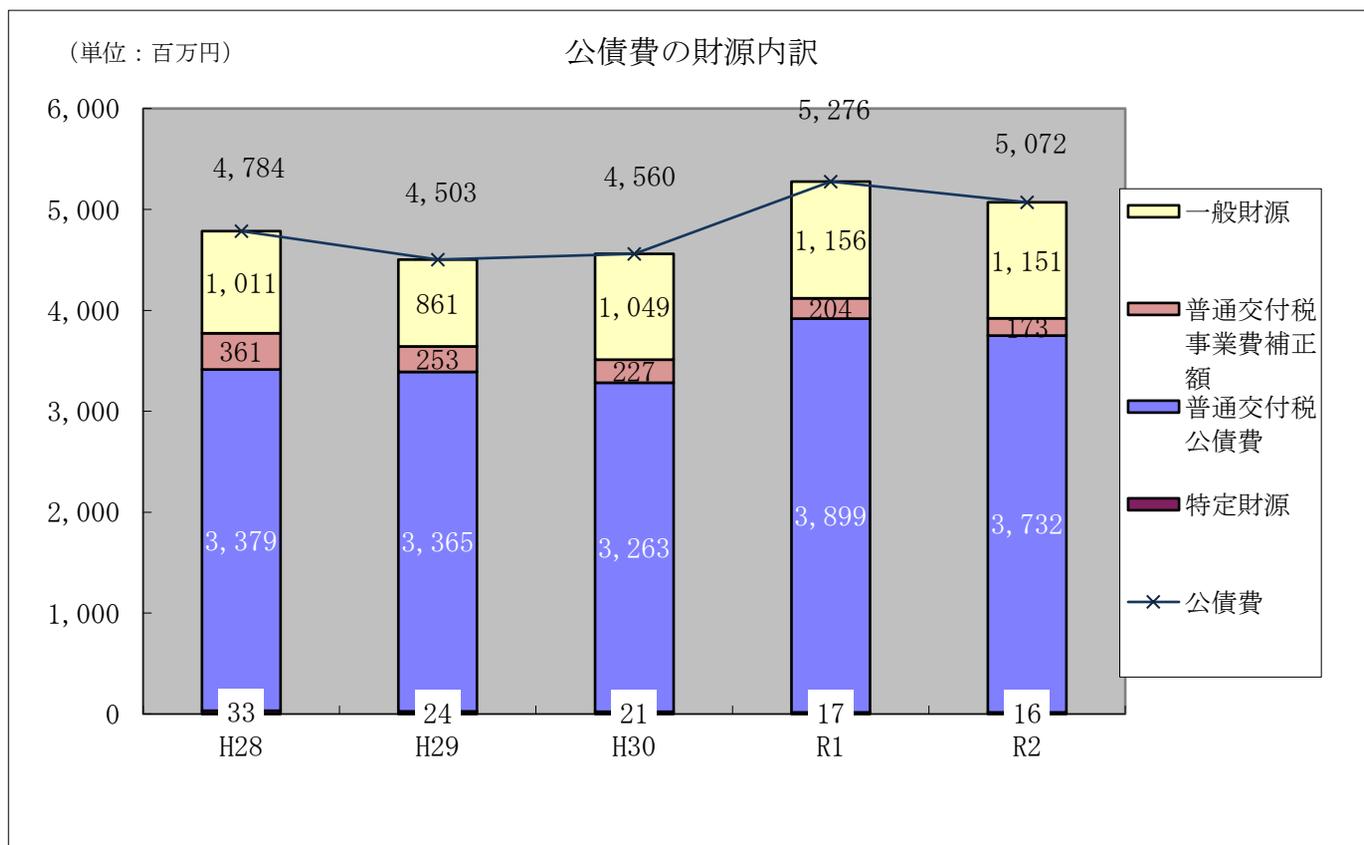
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。

目的別歳出内訳（普通会計）



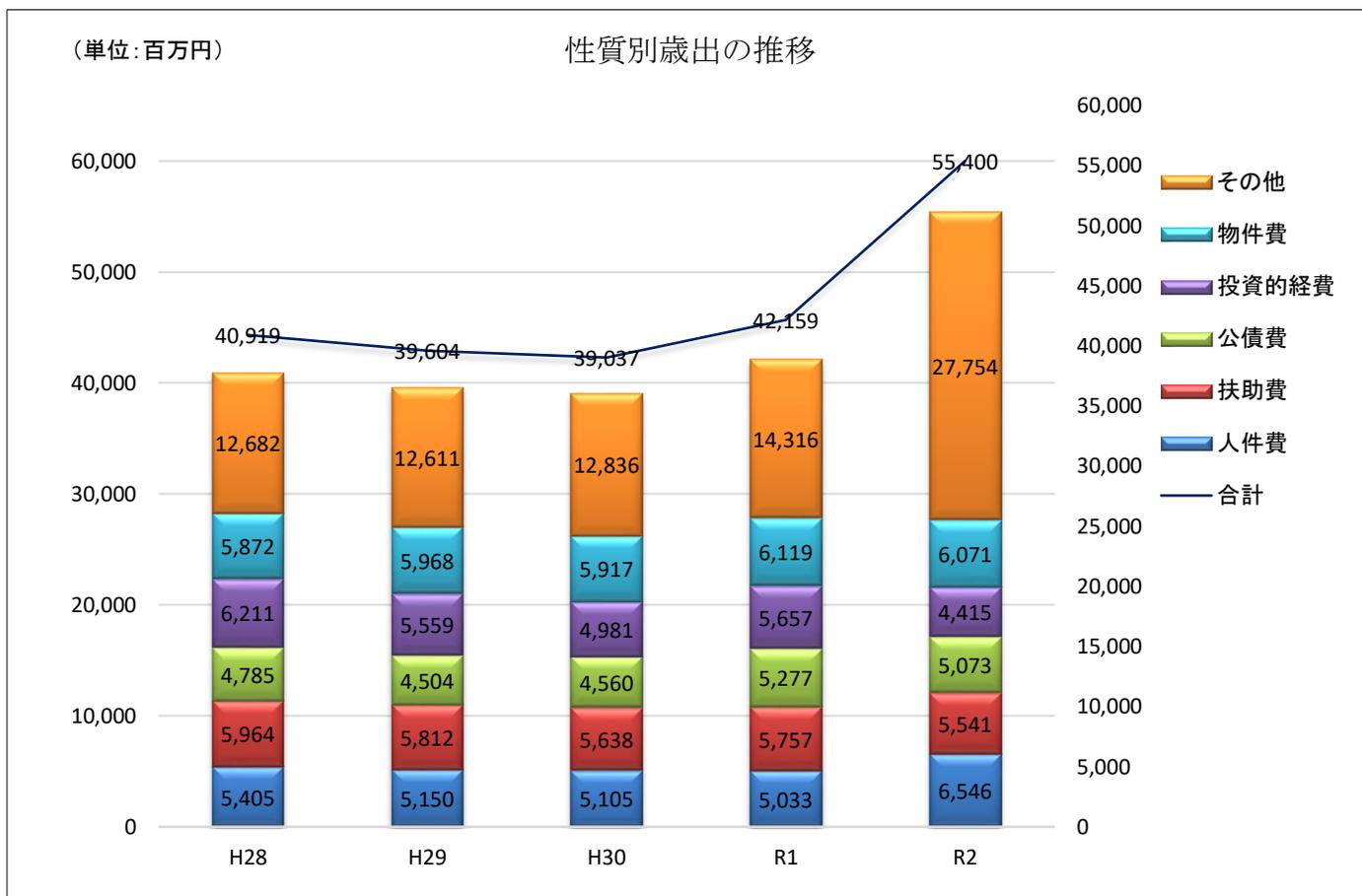
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。

## 公債費の財源分析



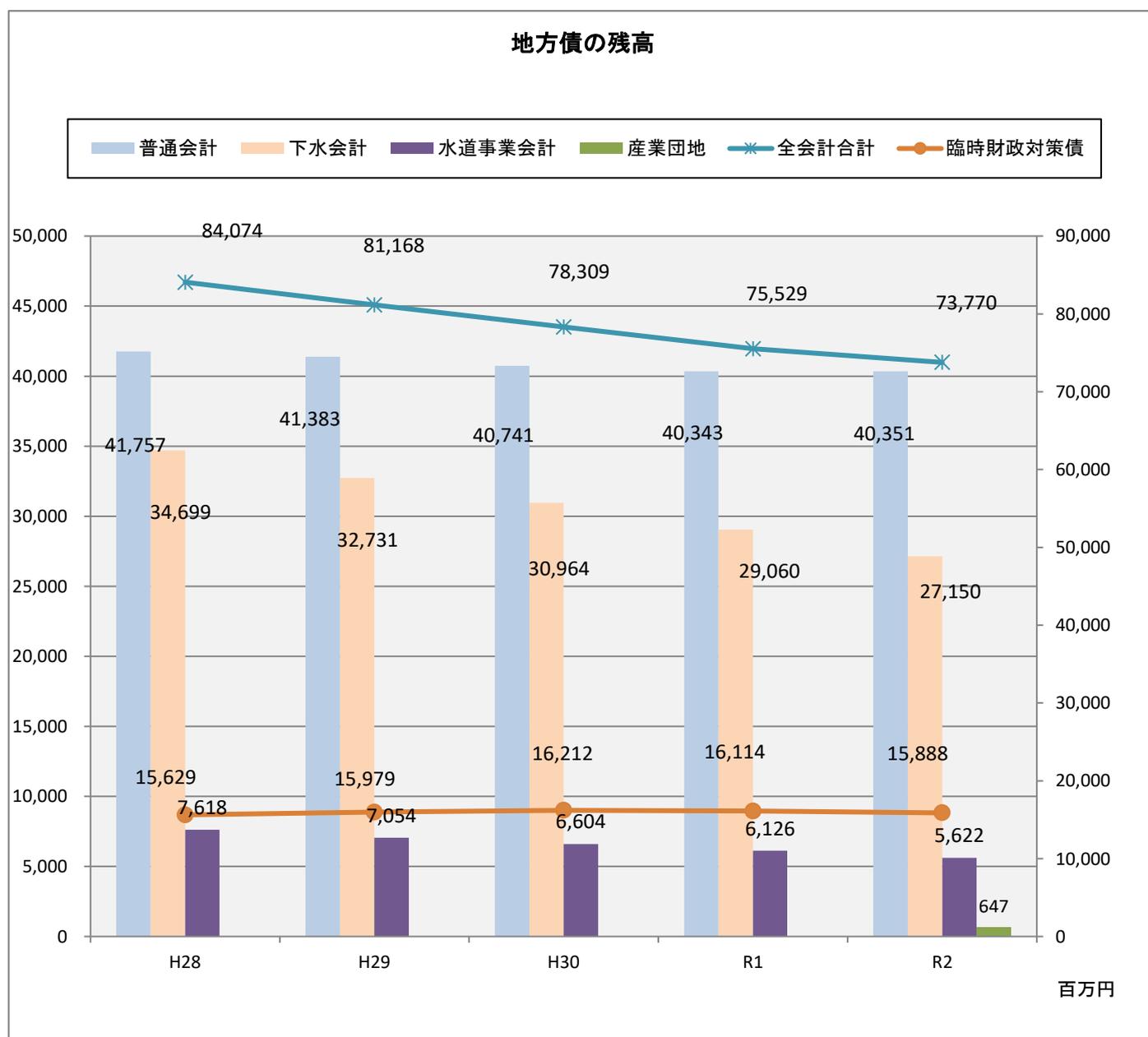
※実質公債費比率の算定資料より抜粋しています。

## 性質別歳出の内訳



※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。

○地方債残高の推移（公営企業を含む）



※H28年度から下水特別会計と農集排特別会計は公営企業会計（法適用）になり、下水会計に含まれています。

【参考】 旧合併特例事業債等の発行内訳

(単位：百万円)

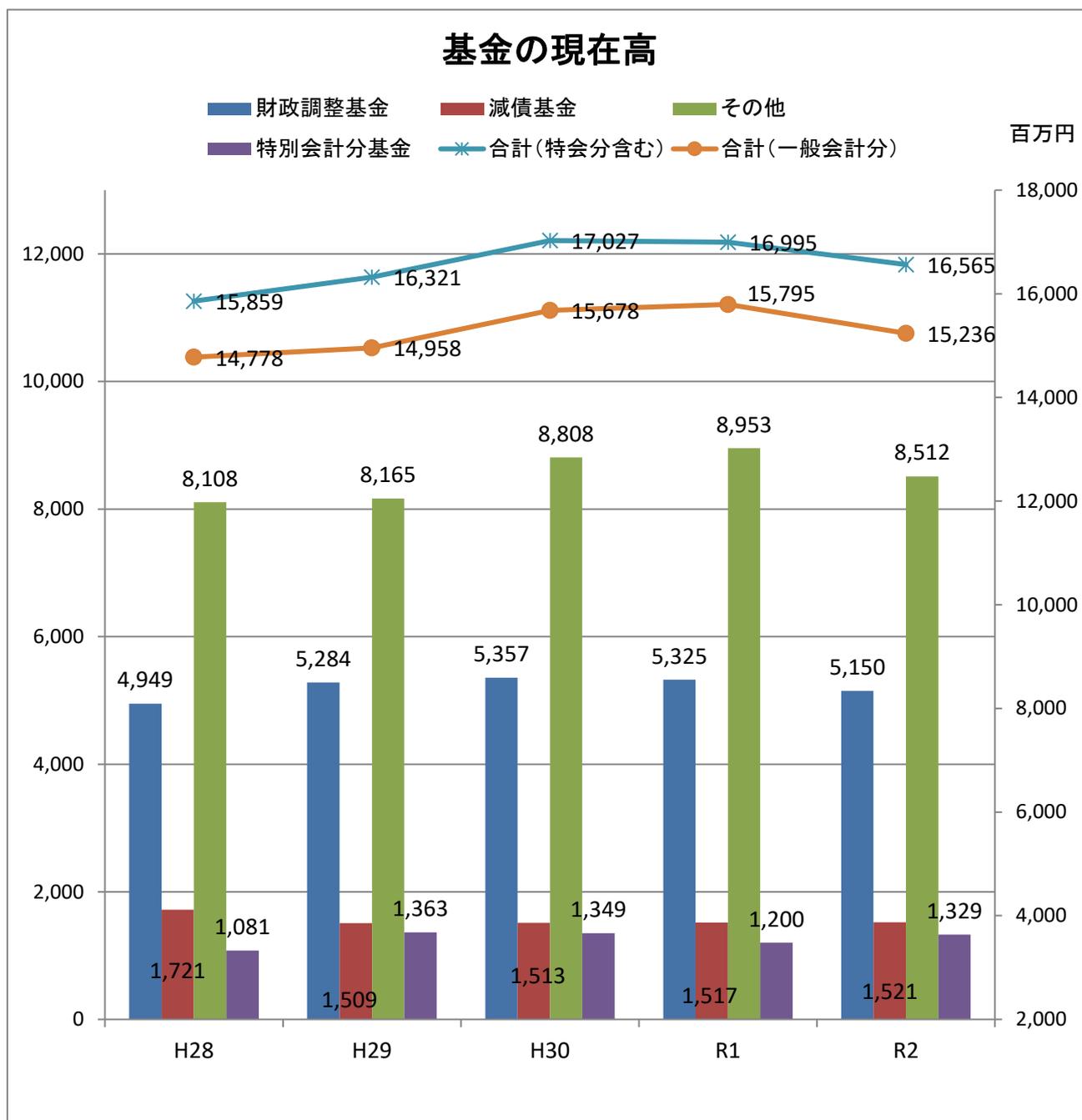
平成17年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
臨時財政対策債 1,277.6	臨時財政対策債 400.0	臨時財政対策債 1,000	臨時財政対策債 1,554
旧合併特例事業債 計 4.4	旧合併特例事業債 計 3,177.0	旧合併特例事業債 計 1,685.8	旧合併特例事業債 計 2,006.1
中部・南部給食センター 4.4	中部・南部給食センター 964.3	穂高交流学习センター 348.2	穂高交流学习センター 66.0
平成18年度	穂高交流学习センター 463.8	有明保育園 576.4	豊科交流学习センター 69.5
臨時財政対策債 1,177.7	三郷児童館 202.5	安曇野赤十字病院建設補助 459.5	有明保育園 118.7
合併特例債 計 1,772.6	豊岳荘建設補助 171.0	堀金保育園 301.7	安曇野赤十字病院建設補助 1,641.3
中部・南部給食センター 376.1	有明保育園 149.9		防災行政無線 38.3
豊岳荘建設補助 171.0	地域振興基金 1,225.5		龍門淵公園 72.3
地域振興基金 1,225.5			

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
臨時財政対策債 2647.0	臨時財政対策債 1968.6	臨時財政対策債 1620.0	臨時財政対策債 1500.0
合併特例債 計 2,027.1	合併特例債 計 2,673.5	合併特例債 計 2,455.1	合併特例債 計 3,000.2
堀金児童館 45.1	新本庁舎 871.0	新本庁舎 1,610.1	体育施設 (高家、県民、穂高 会館) 682.8
豊科交流学习センター 321.2	明科総合支所 241.9	明科総合支所 217.8	庁舎建設 1,253.8
豊科南部保育園 58.9	北穂高保育園 100.6	防災広場 3.7	保育所 179.2
安曇野赤十字病院建設補助 1,188.4	防災行政無線 183.5	三郷南部保育園 130.7	防災行政無線 32.2
防災行政無線 139.3	北部給食センター 706.5	北穂高保育園 88.4	上水道出資 383.2
北部給食センター 274.2	地域振興基金 570.0	市道新設改良事業 57.8	豊科交流学习センター 141.6
		豊科交流学习センター 71.2	温浴施設 113.5
		県民グラウンド 91.1	市道新設改良 213.9
		穂高会館 24.9	
		南部グラウンド 159.4	

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
臨時財政対策債 1700.0	臨時財政対策債 1600.0	臨時財政対策債 1448.7	臨時財政対策債 1522.7
合併特例債 計 5,780.2	合併特例債 計 2,303.5	合併特例債 計 2,171.9	合併特例債 計 1,563.3
庁舎建設事業(本庁舎) 2,714.9	庁舎建設事業(穂高支所) 250.8	地域振興基金積立金 190.0	地域振興基金積立金 95.0
庁舎建設事業(穂高支所) 11.2	庁舎建設事業(三郷支所) 494.1	庁舎建設事業(穂高支所) 296.2	保育所建設事業 594.8
防災行政無線 385.7	庁舎建設事業(堀金支所) 353.9	保育所建設事業(アルプス) 209.0	しゃくなげの湯整備事業 148.9
防災広場 324.8	三郷北部保育園 15.9	保育所建設事業(明科南) 106.9	市道新設改良事業 44.1
市道新設改良 265.1	温浴施設(しゃくなげの湯) 168.4	保育所建設事業(三郷北部) 80.7	堀金公民館講堂改修・文書館整備事業 265.9
穂高会館 865.3	市道新設改良 181.9	保育所建設事業(たつみ) 30.7	豊科公民館駐車場整備事業 53.5
豊科公民館 365.0	防災行政無線 50.2	しゃくなげの湯整備事業 714.9	三郷交流学习センター建設事業 361.1
南部多目的広場 189.6	豊科公民館 694.9	市道新設改良 22.4	
温浴施設(しゃくなげの湯) 17.4	三郷交流学习センター 2.7	豊科支所跡地整備事業 127.1	
保育園(アルプス、三郷南部) 253.7	水道事業出資金 90.7	三郷交流学习センター建設事業 394.0	
水道事業出資金 387.5			

平成30年度	令和元年度	令和2年度
臨時財政対策債 1489.8	臨時財政対策債 1241.2	臨時財政対策債 1,186.7
合併特例債 計 1,418.5	合併特例債 計 2,639.5	合併特例債 計 3,268.5
地域振興基金積立金 374.0	施設除却事業 22.2	施設除却事業 39.9
保育所建設事業 401.2	保育所建設事業 414.6	消防団詰所統廃合事業 34.4
一般会計出資債(上水道分) 237.3	一般会計出資債(上水道分) 279.1	【事故】体育施設整備事業 8.5
新ごみ処理施設建設事業 6.6	新ごみ処理施設建設事業 1,300.7	【事故】保育所建設事業 18.5
【事故】一般会計出資債(上水道分) 95.3	市道新設改良事業 243.4	保育所建設事業 104.5
しゃくなげの湯整備事業 117.6	【明許】市道新設改良事業 3.0	北部児童館建設事業 31.7
【明許】しゃくなげの湯整備事業 18.1	体育施設整備事業 332.0	一般会計出資債(上水道分) 73.9
市道新設改良事業 61.8	【明許】体育施設整備事業 44.5	新ごみ処理施設建設事業 2,391.9
体育施設整備事業 106.6		街路事業 53.0
		都市公園事業 9.5
		市道新設改良事業 171.0
		体育施設整備事業 301.0
		かじかの里トイレ整備事業 30.7

○基金の現在高の推移



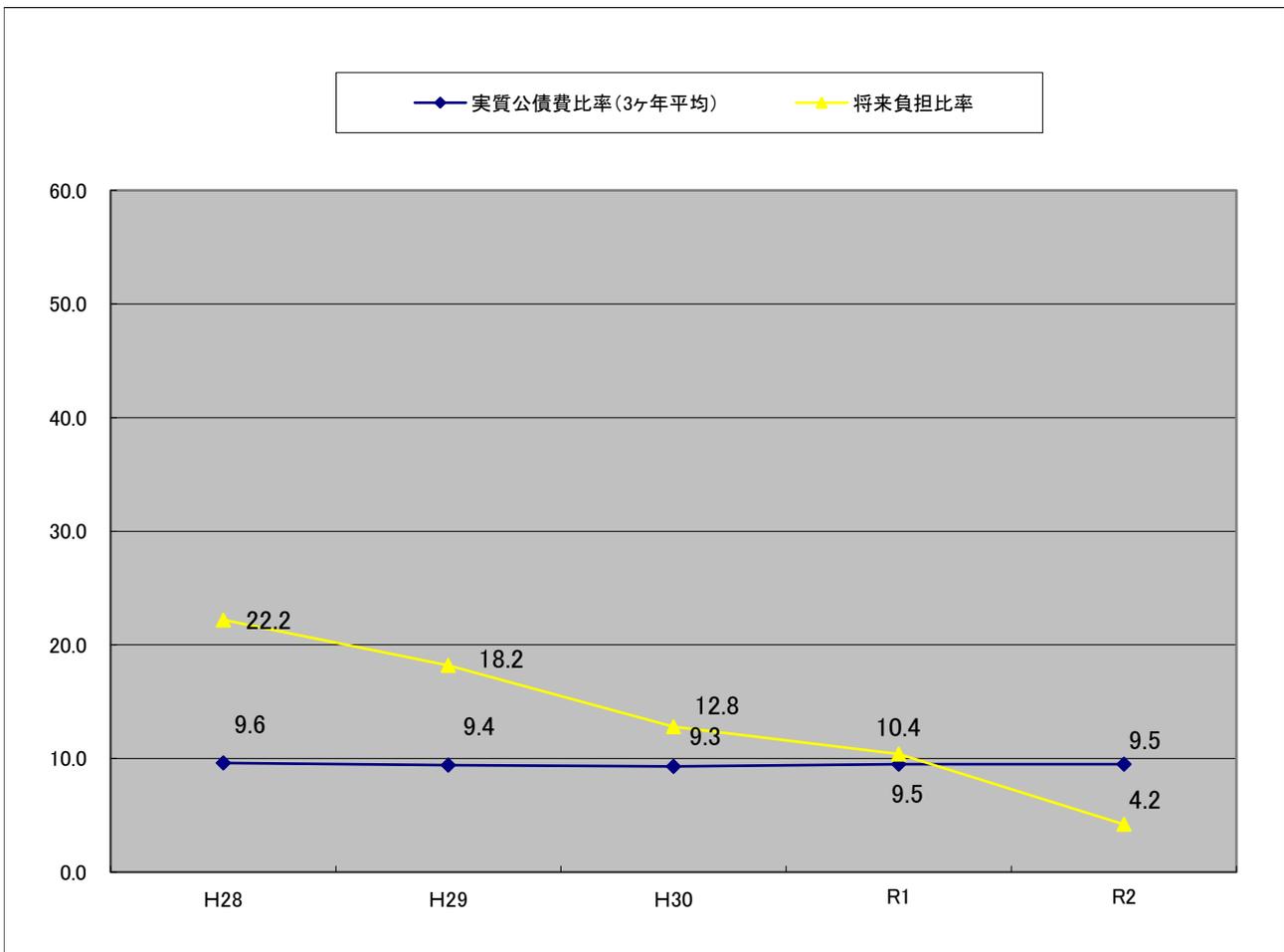
## (2) 健全化判断比率の推移

健全化判断比率とは、平成19年度に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政の健全性を示すものとして定められた指標です。

年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
H28	-	-	9.6	22.2
	(12.02)	(17.02)	(25.0)	(350.0)
H29	-	-	9.4	18.2
	(12.04)	(17.04)	(25.0)	(350.0)
H30	-	-	9.3	12.8
	(12.04)	(17.04)	(25.0)	(350.0)
R1	-	-	9.5	10.4
	(12.00)	(17.00)	(25.0)	(350.0)
R2	-	-	9.5	4.2
	(11.97)	(16.97)	(25.0)	(350.0)

### 備考

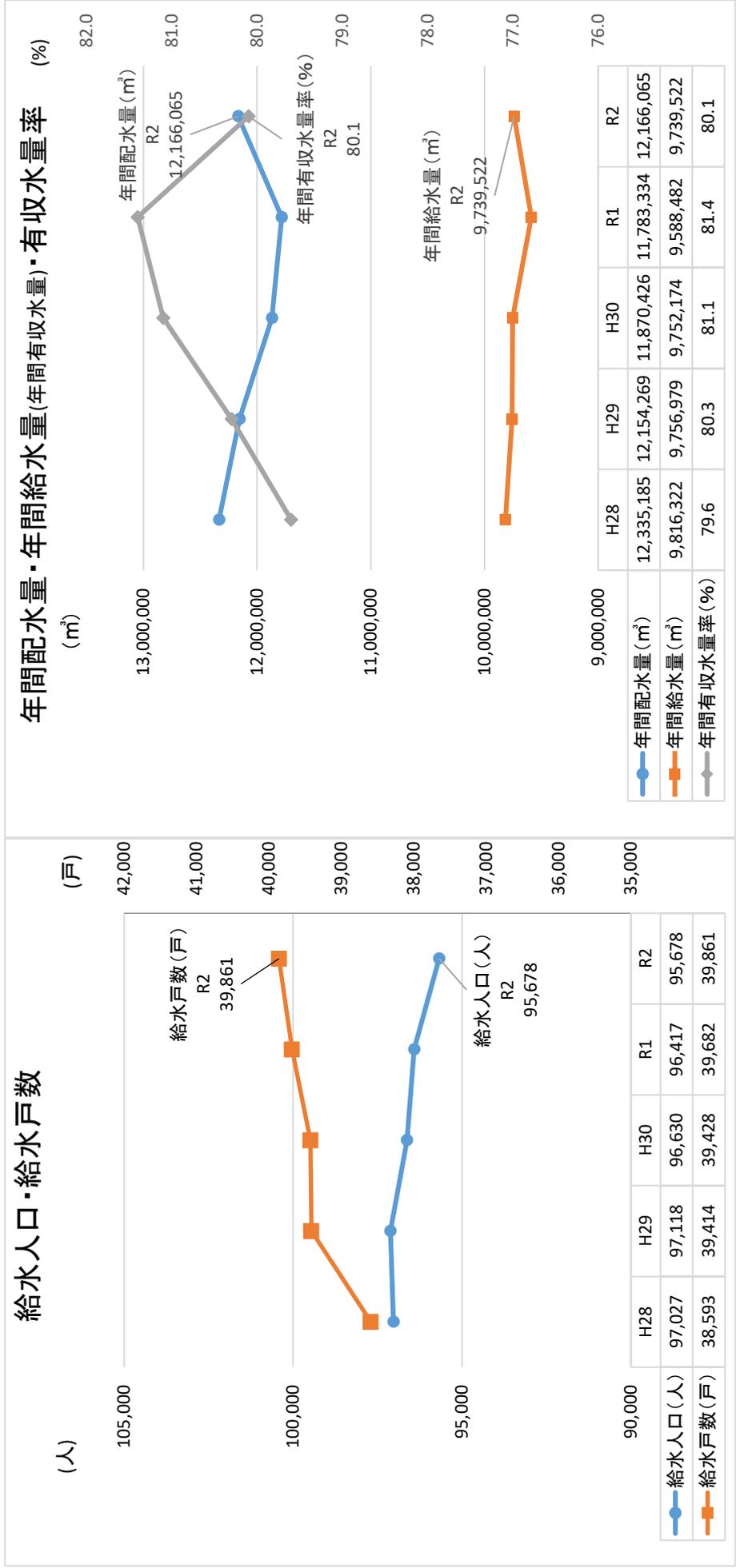
- 1 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債比率又は将来負担比率が算定されない場合は「-」を記載
- 2 早期健全化基準は括弧内に記載



### (3) 令和2年度 安曇野市上下水道事業 決算概要

#### I 水道事業決算概要

##### 1 業務量 (決算書 24ページ)

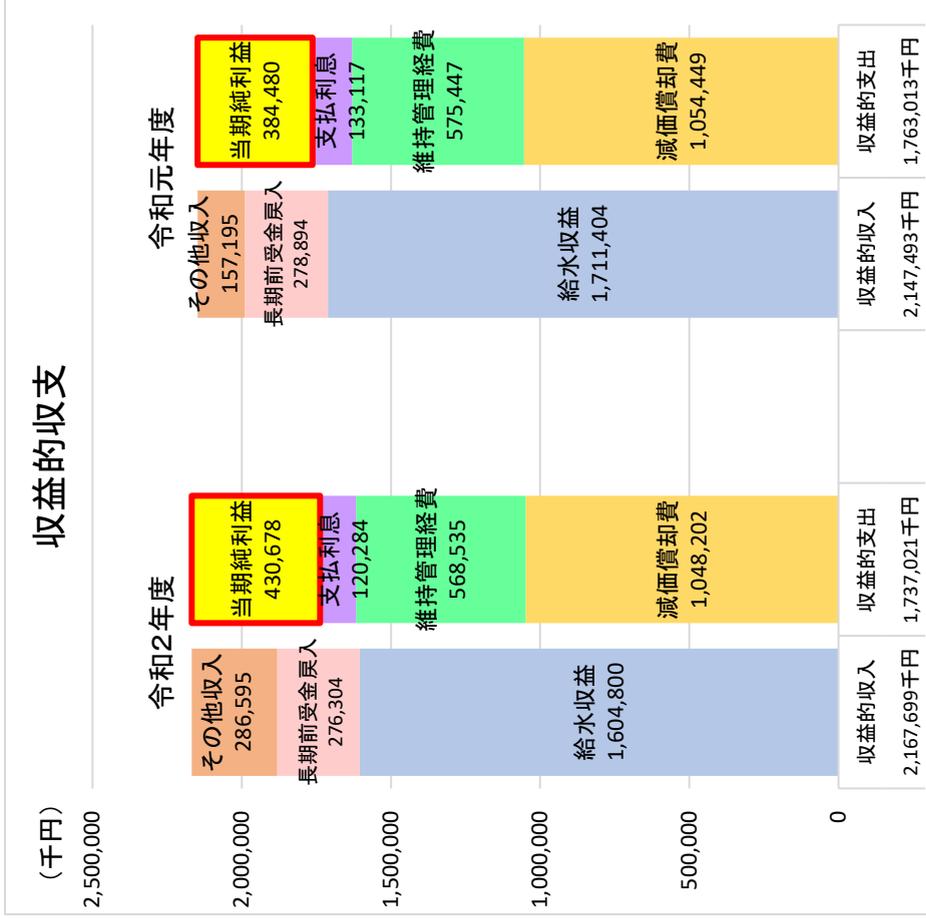


## 2 収益的収支（損益計算書）（決算書 4～5 ページ、24 ページ、28～31 ページ）

水道水を作り、みなさまへお届けするための収支状況です。  
水道水がどのくらい売れて、その水道水を供給するまでにどのくらいの費用がかかっているのかを表しています。

(千円) ※消費税抜き

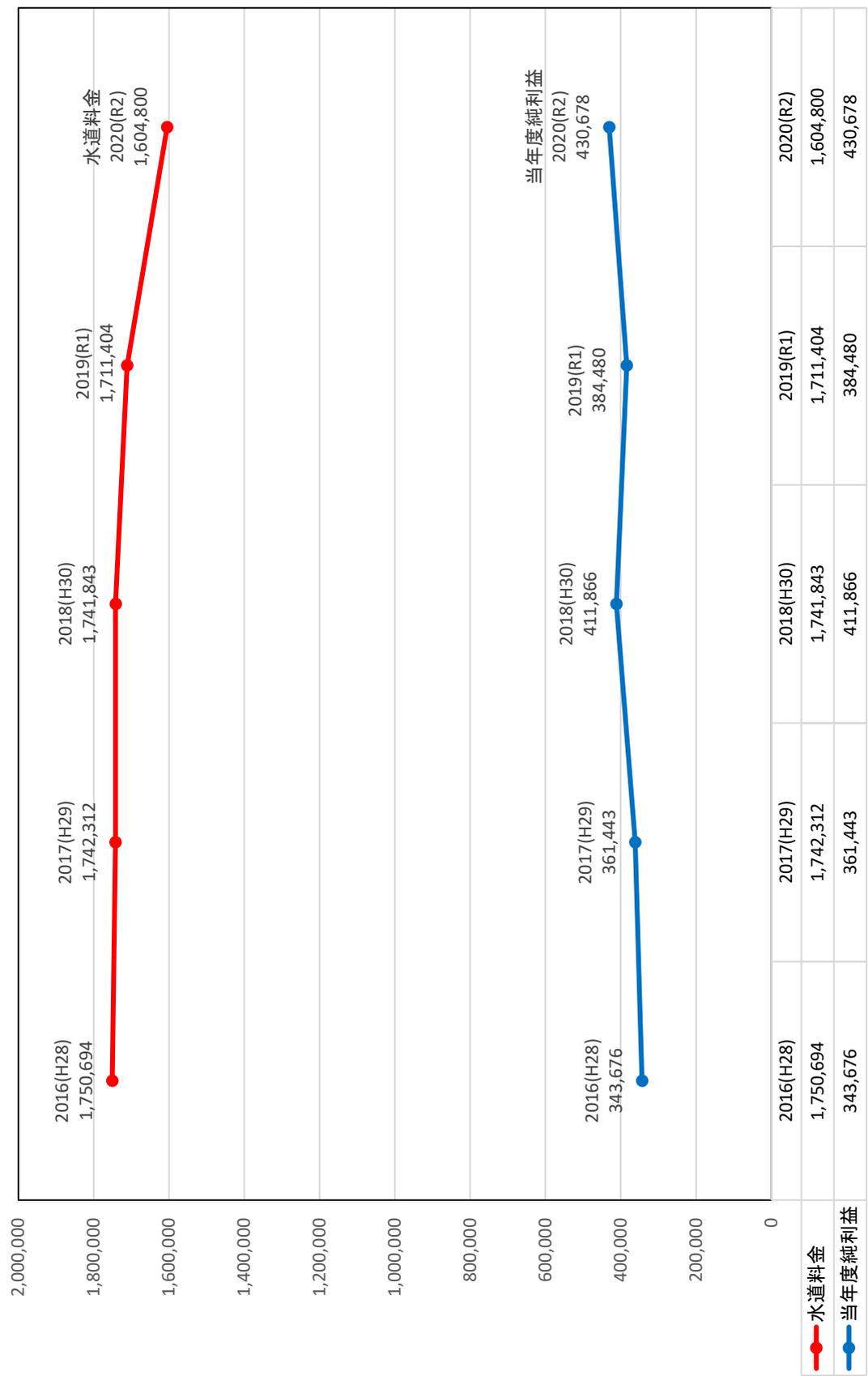
収益的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
営業収益	1,765,493	1,865,572	△ 100,079	△ 5.36%
うち給水収益	1,604,800	1,711,404	△ 106,604	△ 6.23%
営業外収益	402,206	281,851	120,355	42.70%
うち長期前受金戻入	276,304	278,894	△ 2,590	△ 0.93%
収益計①	2,167,699	2,147,423	20,276	0.94%
営業費用	1,615,097	1,627,352	△ 12,255	△ 0.75%
うち減価償却費	1,048,202	1,054,449	△ 6,247	△ 0.59%
うち資産減耗費	9,373	25,063	△ 15,690	△ 62.60%
営業外費用	121,924	135,661	△ 13,737	△ 10.13%
費用計②	1,737,021	1,763,013	△ 25,992	△ 1.47%
経常損益①-②	430,678	384,410	46,268	12.04%
特別損益	0	70	△ 70	皆減
純損益	430,678	384,480	46,198	12.02%



※ 令和元年度の表中収益計とグラフの収益的収入の差額7万円は特別利益です。

損益では、総収益が21億6,769万9千円で、総費用は17億3,702万1千円となり、純損益は4億3,067万8千円の黒字で、前年度に比べ4,619万8千円増加となりました。収益のうち水道料金は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的支援策として、基本料金の7月・8月請求分の1期2か月分を減免しました。減免対象件数は3万9,518件、減免対象料金は1億2,518万1,807円（消費税込）となりましたが、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」により補填されました。一方、電子機器製造業などの企業において使用水量が増加となり、特別損益を含めた収益全体では2,020万6千円増加となりました。費用は動力費及び企業債支払利息等の減少を主な要因として、全体で2,599万2千円減少したため、純損益は増加となりました。

水道事業会計 水道料金収入と純利益 (単位:千円)



### 3 資本的収支 (決算書 2～3 ページ、32～33 ページ)

水道施設の整備と企業債償還を行うための収支状況です。

(千円) ※消費税込み

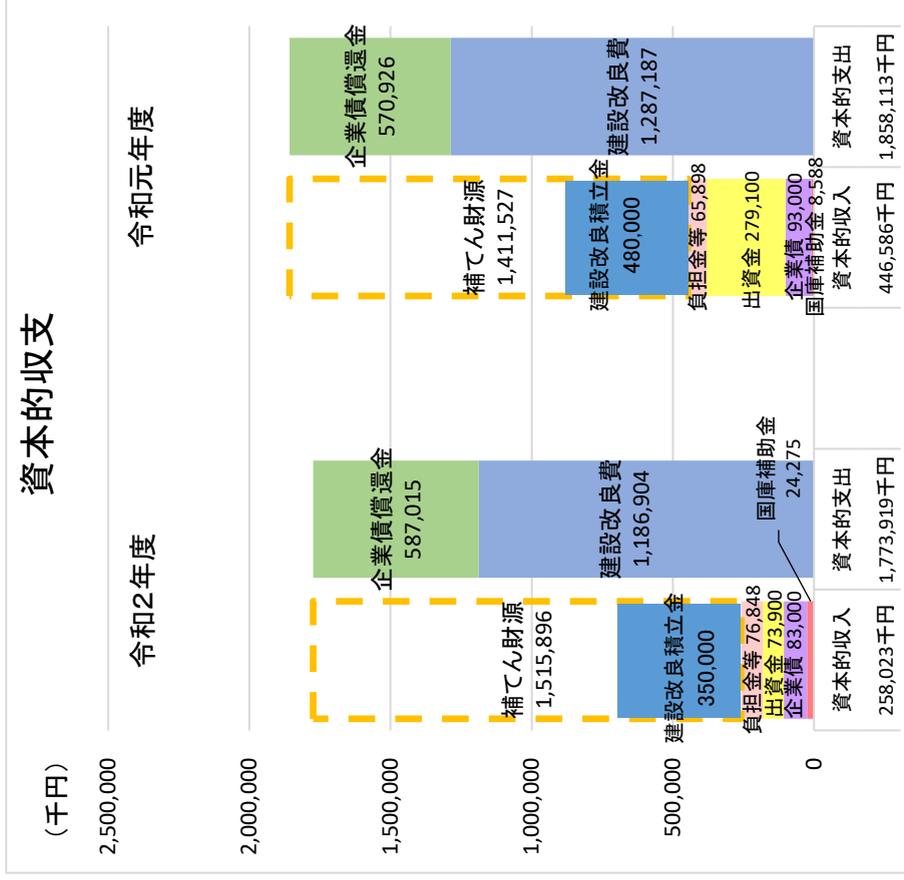
資本的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
資本的収入 (a)	258,023	446,586	△ 188,563	△ 42.22%
うち企業債	83,000	93,000	△ 10,000	△ 10.75%
資本的支出 (b)	1,773,919	1,858,113	△ 84,194	△ 4.53%
うち企業債償還金	587,015	570,926	16,089	2.82%
資本的収支不足額 (a) - (b)	△ 1,515,896	△ 1,411,527	△ 104,369	7.39%
消費税資本的収支調整額	103,131	107,843		
補てん財源	1,062,765	823,684		
建設改良積立金	350,000	480,000		

資本的収入は2億5,802万3千円で、企業債及び一般会計出資金の減少により1億8,856万3千円減少しました。

資本的支出は17億7,391万9千円で、豊科・明科地域整備事業の建設改良費減少により8,419万4千円減少しました。

収支差引で不足する15億1,589万6千円は、過年度分損益勘定留保資金10億5,443万1千円、当年度分損益勘定留保資金833万4千円、建設改良積立金3億5千万円の取り崩しなどで補てんしました。

(※1) 損益勘定留保資金  
施設の減価償却費など現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金





## 5 キャッシュ・フロー計算書 (決算書 27ページ)

1年間の現金収入や現金支出を「業務活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。業務活動によるキャッシュ・フローでは、主たる業務活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。投資活動によるキャッシュ・フローでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常はマイナスとなります。財務活動によるキャッシュ・フローでは、資金調達や企業債の償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合はマイナス、借入れた場合はプラスとなります。

	令和2年度	令和元年度	増減
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,183,669	1,167,017	16,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,344,527	△ 1,112,239	△ 232,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 151,015	△ 240,625	89,610
現金増減額	△ 311,873	△ 185,847	△ 126,026
現金期首残高	2,943,473	3,129,320	△ 185,847
現金期末残高	2,631,600	2,943,473	△ 311,873

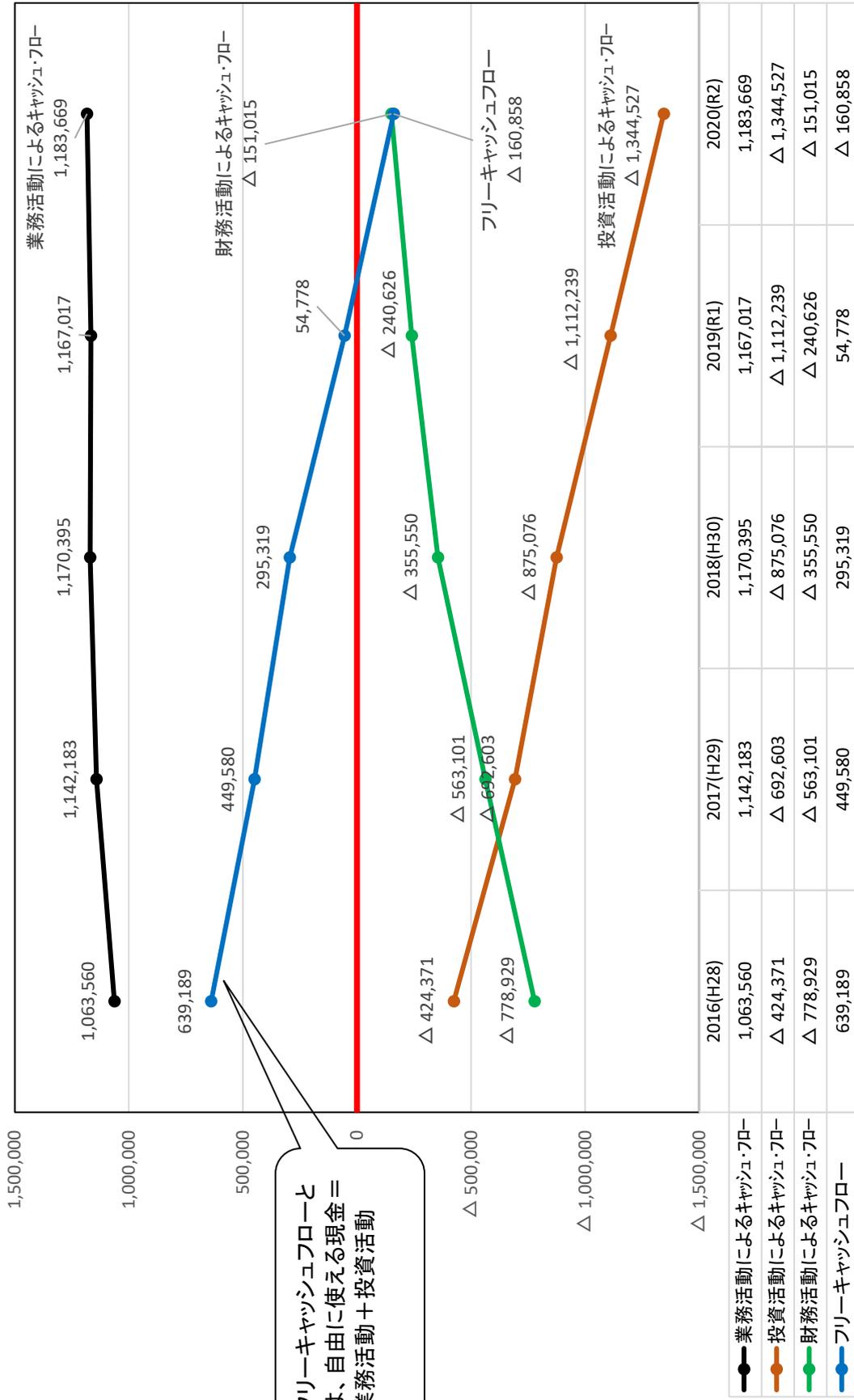
(千円)

業務活動による現金は、11億8,366万9千円のプラスで順調な経営状況となっております。投資活動による現金は、13億4,452万7千円のマイナスで主要管路整備・配水管布設替工事、豊科・明科地域整備事業等の建設改良費を支出しました。財務活動による現金は、1億5,101万5千円のマイナスで企業債・一般会計出資金の収入を企業債償還金の支出が上回りました。現金の期末残高は、26億3,160万円となりました。



# 水道事業会計 キャッシュ・フローの推移

(単位:千円)

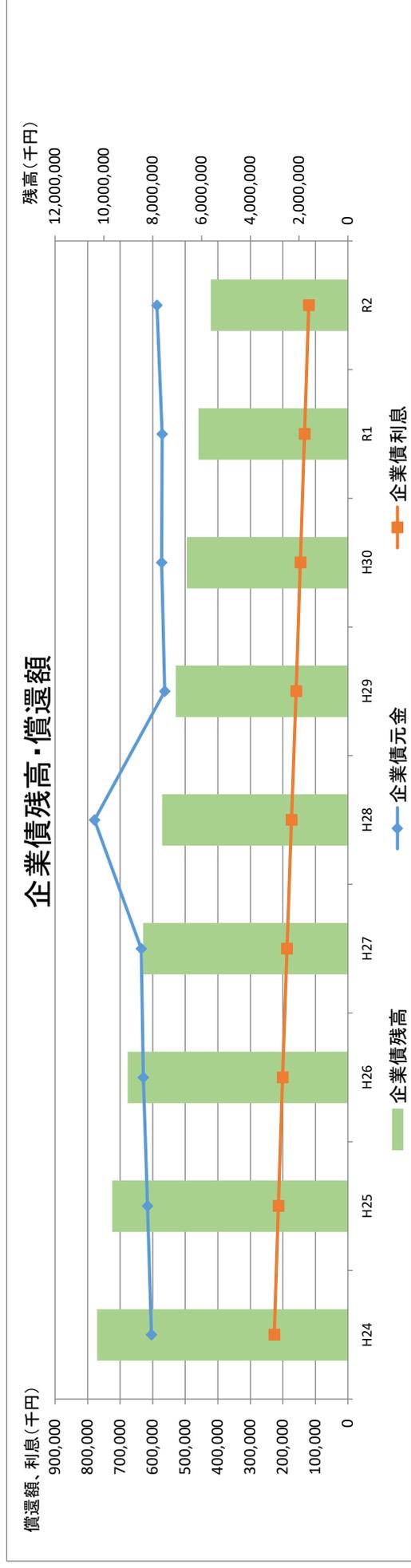


## 6 企業債 (決算書 26ページ、35～36ページ)

(千円)

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年度末 残高	7,617,532	7,054,430	6,603,580	6,125,655	5,621,639
借入額	0	0	122,000	93,000	83,000

令和2年度は主要管路整備配水管等布設工事費の財源を確保するために、8,300万円の企業債を借り入れました。一方で、5億8,701万5千円の元金償還により、年度末の企業債残高は56億2,163万9千円となりました。また、企業債利息として1億2,028万4千円を支払いました。



## 7 利益剰余金 (決算書 6～7ページ)

利益剰余金 (千円)		900
前年度からの繰越利益剰余金 A		900
当年度変動額 B		780,678
当年度純利益		430,678
積立金の取り崩し		350,000
当年度末処分利益剰余金 (C=A+B)		781,578

利益剰余金処分 (案) (千円)		△ 430,678
建設改良積立金の積立		△ 430,678
資本金への組入れ		△ 350,000
処分額 計 D		△ 780,678
翌年度への繰越利益剰余金 (E=C-D)		900

当年度末処分利益剰余金は、前年度繰越額90万円と当年度純利益4億3,067万8千円、資金的収支の不足額を補てんするために建設改良積立金を取り崩した3億5千万円の合計7億8,157万8千円となりました。

剰余金の処分は、市議会での認定議決を受けて実行します。当年度の利益は、後年度の更新事業の財源に充てるため、建設改良積立金へ積立てます。

# 令和2年度に上水道事業で実施した主な取組みについて

## ①豊科明科地域整備事業

《送配水管布設・明科第2水源改修》

犀川右岸側に位置する豊科明科地域の配水系の統一化のため、平成29年度より送水管、配水管の布設工事を進めてきました。令和2年度に予定工事が完了したことにより、犀川右岸地域への水道水の安定供給と耐震化を行うことができました。

改修後の明科第2水源



●送配水管布設工事 3路線 L=1,615m C=128,579千円 (豊科光・明科光、中川手)  
明科第2水源地改修工事 一式 C=127,490千円

## ③安全な水道水の供給

《濁度計設置工事》

拠点配水池に接続している水源に濁度計を設置することにより、地震などによる取水の濁りを感じ、瞬時に取水を停止することができ、配水池内に濁った水の流入を防止することができます。

盤据付・結線



濁度計調整



中央監視改造



●濁度計設置工事 一式(豊里2号井) C=69,300千円

## ②主要管路整備事業

《導水・配水管布設》

水源から拠点配水池に接続している導水管、災害時の避難所や病院等の重要給水施設と拠点配水池を結ぶ主要管路整備を行い、重要給水施設への給水ルートへの耐震化を進めることができました。

管路掘削



管布設



舗装復旧



●主要管路布設工事 3路線 L=1,500m C=99,528千円 (豊科高家・穂高)

## ④施設の更新事業

《明科第3水源地電気・計装設備改修工事》

上水道施設の正常な運転を維持するため、点検結果や更新基準を基に施設の更新を行い、常に安定した施設の状態を確保します。ポンプ制御盤及び計装盤の更新を行いました。

盤撤去



盤据付・結線



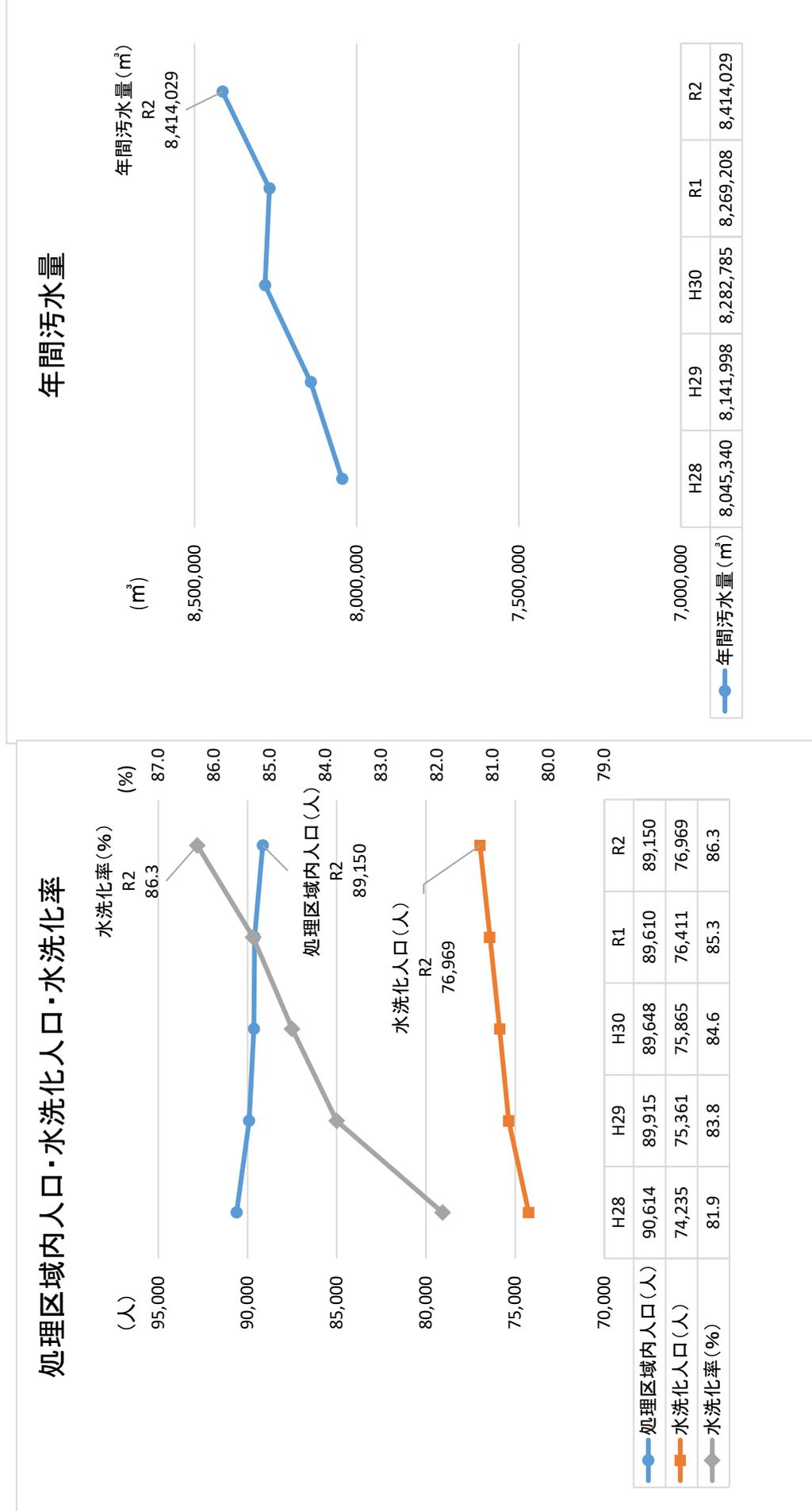
しゅん工



●電気・計装設備改修工事 一式 C=46,200千円

## II 下水道事業決算概要

### 1 業務量 (決算書 53ページ)

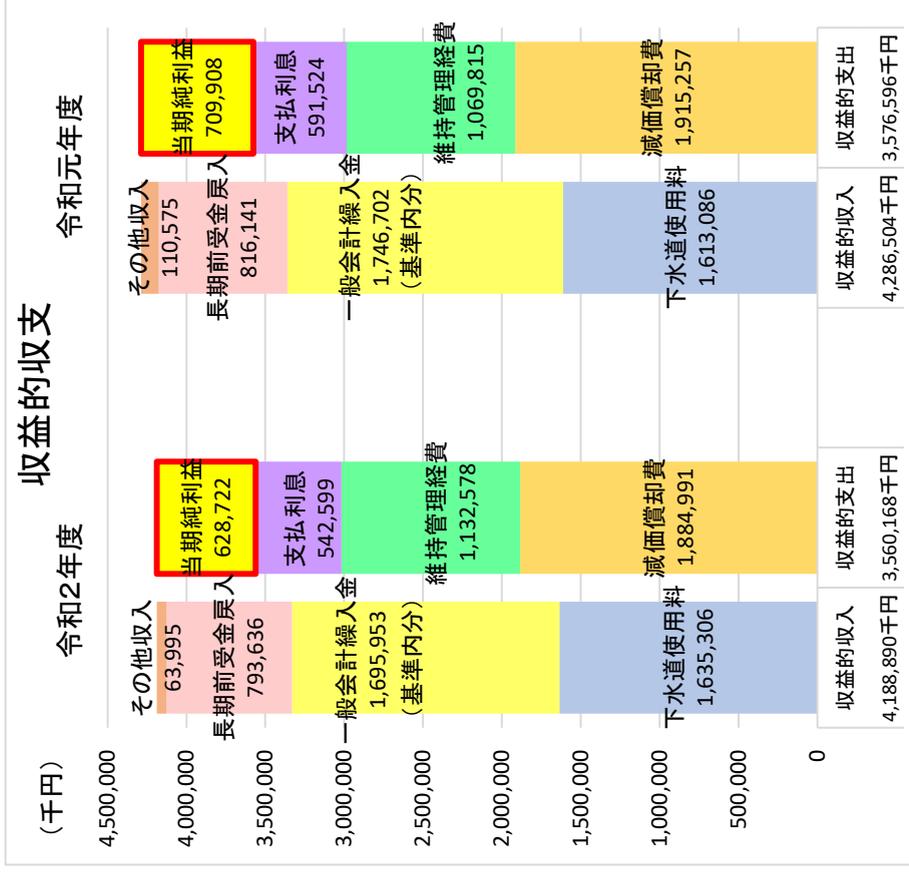


## 2 収益的収支(損益計算書) (決算書 42～43ページ、54ページ、58～61ページ)

使われた水をきれいに流すために川に流すまでの収支状況です。  
下水道がどのくらい使用され、その汚水を処理するまでのくらい費用がかかっているのかを表しています。

収益的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
営業収益	1,667,606	1,639,711	27,895	1.70%
うち下水道使用料	1,635,306	1,613,086	22,220	1.38%
営業外収益	2,521,284	2,646,793	△ 125,509	△ 4.74%
うち一般会計繰入金	1,695,953	1,746,702	△ 50,749	△ 2.91%
収益計①	4,188,890	4,286,504	△ 97,614	△ 2.28%
営業費用	3,014,222	2,978,143	36,079	1.21%
うち減価償却費	1,884,991	1,915,257	△ 30,266	△ 1.58%
営業外費用	545,946	598,453	△ 52,507	△ 8.77%
費用計②	3,560,168	3,576,596	△ 16,428	△ 0.46%
経常損益①-②	628,722	709,908	△ 81,186	△ 11.44%
特別損益	0	0	0	
純損益	628,722	709,908	△ 81,186	△ 11.44%

(千円) ※消費税抜き



収益は41億8,889万円で、下水道使用料の増加に伴う一般会計繰入金の減少により、9,761万4千円減少しました。収益合計の4割は一般会計繰入金が占めています。

費用は35億6,016万8千円で、犀川安曇野流域下水道維持管理負担金、減価償却費及び支払利息の減少に伴い、1,642万8千円減少しました。

純損益は8,118万6千円減少し、6億2,872万2千円の黒字となりました。

## 下水道事業会計 下水道使用料収入と純利益

(単位:千円)



### 3 資本的収支 (決算書 40~41ページ、62~63ページ)

下水道施設の整備と企業債償還を行うための収支状況です。

(千円) ※消費税込み

資本的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
資本的収入 (a)	819,900	712,960	106,940	15.00%
うち資本費平準化債	362,100	362,100	0	0.00%
資本的支出 (b)	2,519,436	2,388,049	131,387	5.50%
うち企業債償還金	2,390,636	2,321,444	69,192	2.98%
資本的収支不足額 (a) - (b)	△ 1,699,536	△ 1,675,089	△ 24,447	1.46%
消費税資本的収支 調整額	0	0		
上記 補てん財源	989,636	931,689		
減債積立金	709,900	743,400		

資本的収入は18億1,990万円、企業債の借入れ及び受益者負担金の増加により、1億694万円増加しました。  
資本的支出は25億1,943万6千円で、建設改良費は犀川安曇野流域下水道事業建設負担金や企業債償還金の増加により、1億3,138万7千円増加しました。  
収支差引で不足する16億9,953万6千円は、過年度分損益勘定留保資金3億6,652万円、当年度分損益勘定留保資金6億2,311万6千円と減債積立金7億990万円の取り崩しにより補てんしました。

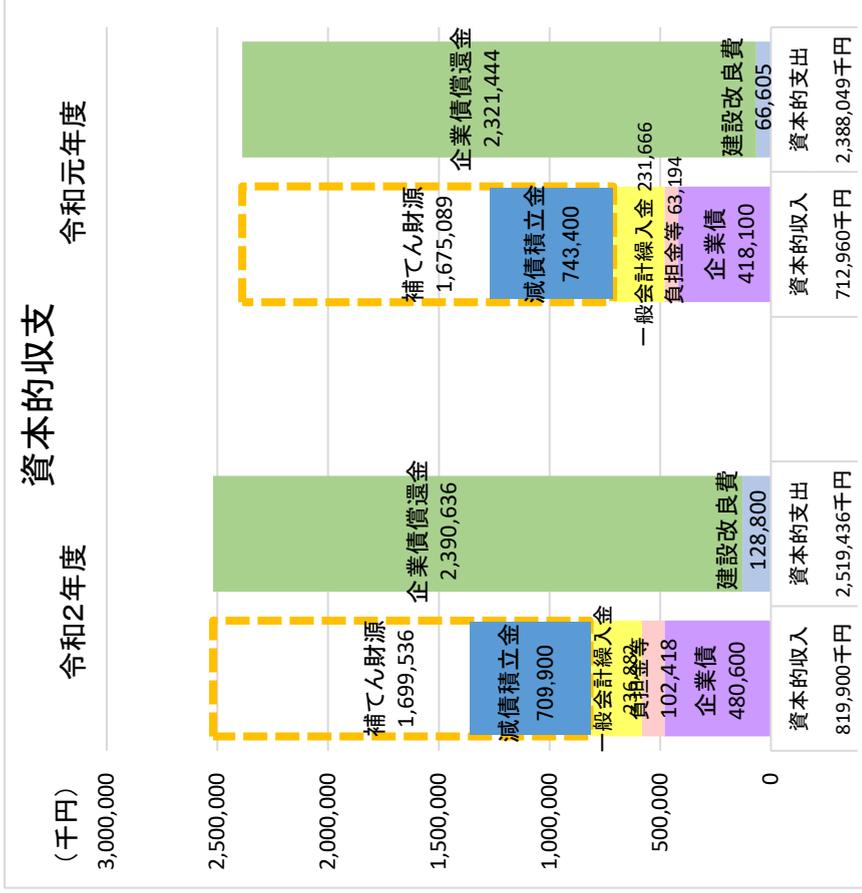
(※1) 損益勘定留保資金

施設の減価償却費などの現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金

### (参考) 一般会計繰入金収入額の比較 (決算書 58ページ、62ページ)

	令和2年度	令和元年度	増減
一般会計繰入金合計	1,934,668	1,983,609	△ 48,941
収益的収入	1,697,786	1,751,943	△ 54,157
資本的収入	236,882	231,666	5,216

※収益的収入グラフとの差額は基準外繰入金 (営業収益) 分です。  
(令和2年度 1,833千円、令和元年度 5,241千円)



(千円)

収益的収入 基準内繰入金	1,695,953
収益的収入 基準外繰入金	1,833
上記合計	1,697,786

#### 4 貸借対照表 (決算書 46～47ページ)

財政状態を表し、保有している財産や、抱えている借入金の状況などを明らかにしています。

	(千円)		増減
	令和2年度	令和元年度	
資産			
固定資産	60,536,022	62,145,312	△ 1,609,290
流動資産	59,277,906	60,875,379	△ 1,597,473
うち現金	1,258,116	1,269,933	△ 11,817
	1,138,951	1,158,343	△ 19,392
負債	51,653,605	53,891,617	△ 2,238,012
固定負債	24,696,905	26,669,753	△ 1,972,848
うち企業債	24,696,905	26,669,753	△ 1,972,848
流動負債	2,723,469	2,689,082	34,387
うち企業債	2,453,448	2,390,637	62,811
繰延収益	24,233,231	24,532,782	△ 299,551
資本	8,882,417	8,253,695	628,722
資本金	7,146,173	6,402,773	743,400
剰余金	1,736,244	1,850,922	△ 114,678
資本剰余金	397,447	397,447	0
利益剰余金	1,338,797	1,453,475	△ 114,678
負債＋資本 計	60,536,022	62,145,312	△ 1,609,290



企業債残高が271億5,035万3千円で、負債合計の約52%を占めています。また、前年度決算で取り崩した減価積立金を資本金へ組入れたため、資本金が増加しました。

## 5 キャッシュ・フロー計算書 (決算書 57ページ)

1年間の現金収入や現金支出を「業務活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。業務活動によるキャッシュ・フローでは、主たる業務活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。投資活動によるキャッシュ・フローでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常はマイナスとなります。財務活動によるキャッシュ・フローでは、資金調達や企業債の償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合はマイナス、借入れた場合はプラスとなります。

	令和2年度	令和元年度	増減
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,679,421	1,819,631	△ 140,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,658	△ 13,994	△ 11,664
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,673,155	△ 1,671,678	△ 1,477
現金増減額	△ 19,392	133,959	△ 153,351
現金期首残高	1,158,343	1,024,384	133,959
現金期末残高	1,138,951	1,158,343	△ 19,392

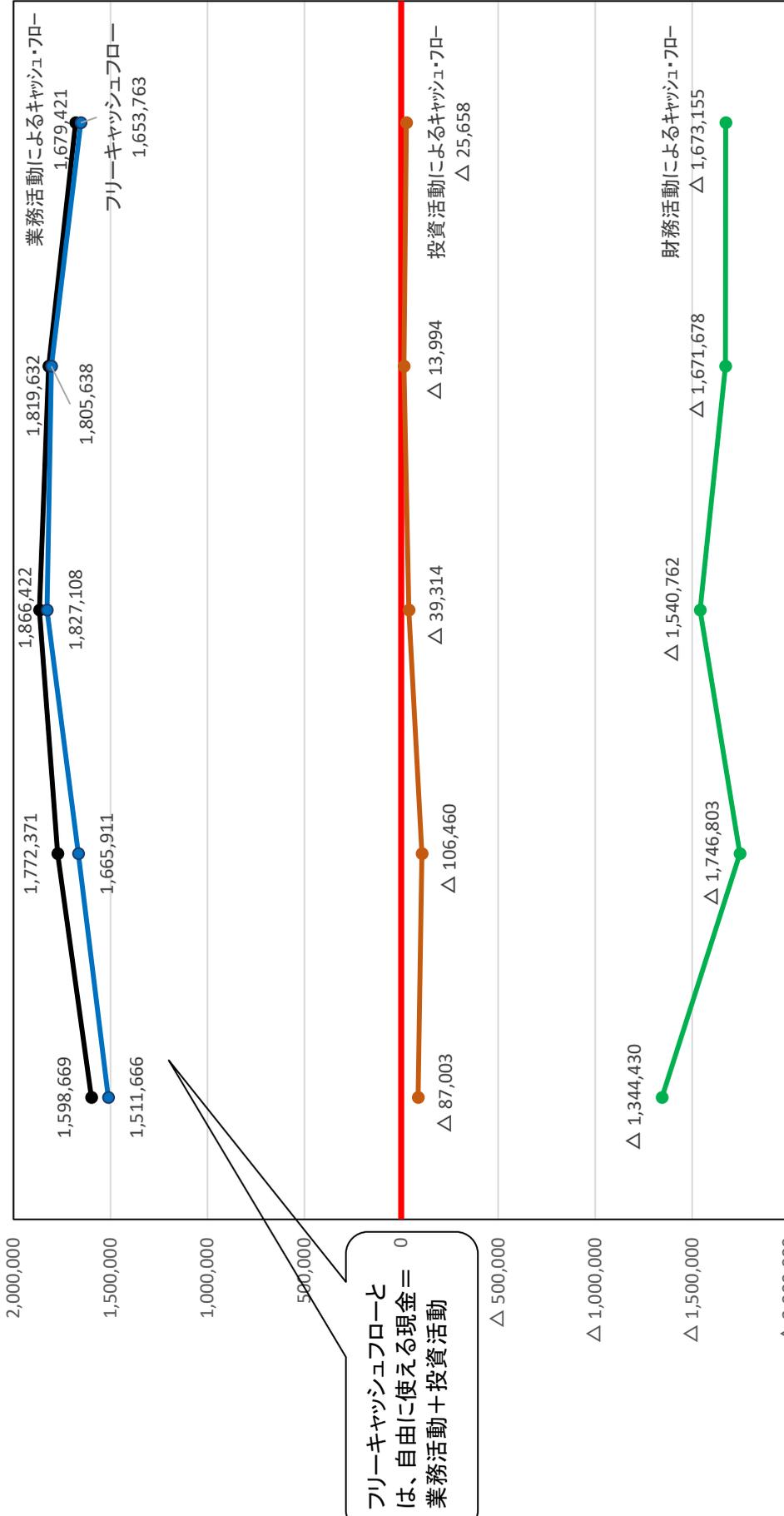
(千円)

業務活動による現金は、16億7,942万1千円のプラスで順調な経営となっております。投資活動による現金は2,565万8千円のマイナスで、犀川安曇野流域下水道事業にかかる負担金等を支出しました。財務活動による現金は、16億7,315万5千円のマイナスで企業債の償還金を支出しました。現金の期末残高は、11億3,895万1千円となりました。



# 下水道事業会計 キャッシュ・フローの推移

(単位: 千円)



フリーキャッシュ・フローとは、自由に使える現金＝業務活動＋投資活動

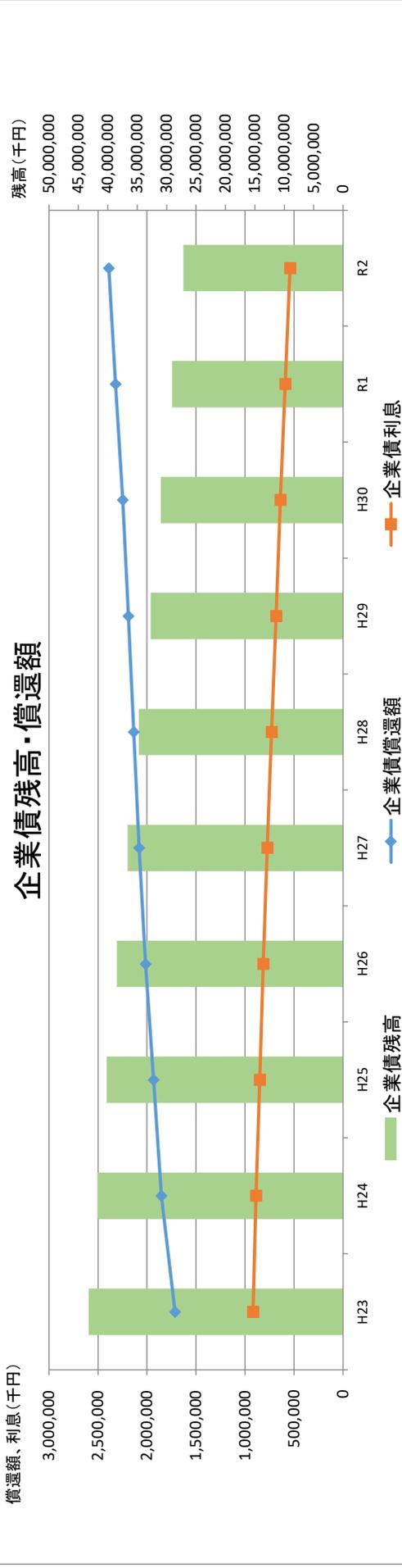
	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,598,669	1,772,371	1,866,422	1,819,632	1,679,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 87,003	△ 106,460	△ 39,314	△ 13,994	△ 25,658
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,344,430	△ 1,746,803	△ 1,540,762	△ 1,671,678	△ 1,673,155
フリーキャッシュ・フロー	1,511,666	1,665,911	1,827,108	1,805,638	1,653,763

## 6 企業債 (決算書 56ページ、65～78ページ)

(千円)

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年度末 残高	34,699,360	32,730,946	30,963,734	29,060,390	27,150,353
借入額	223,500	221,900	478,900	418,100	480,600
うち資本費 平準化債	0	0	322,100	362,100	362,100

令和2年度は、下水道事業債1億1,850万円と資本費平準化債3億6,210万円を借り入れました。  
 一方で、23億9,063万7千円の元金償還により、年度末の企業債残高は271億5,035万3千円となりました。  
 また、企業債利息として5億4,259万9千円を支払いました。



## 7 利益剰余金 (決算書 44～45ページ)

(千円)

前年度からの繰越利益剰余金 A	175
当年度変動額 B	1,338,622
当年度純利益	628,722
積立金の取り崩し	709,900
当年度未処分利益剰余金 (C=A+B)	1,338,797

当年度未処分利益剰余金は、前年度繰越額17万5千円と当年度純利益6億2,872万2千円、資本的収支の不足額を補てんするために減債積立金を取り崩した7億990万円の合計13億3,879万7千円となりました。

利益剰余金処分 (案)	(千円)
減債積立金の積立	△ 628,700
資本金への組入れ	△ 709,900
処分額 計 D	△ 1,338,600
翌年度への繰越利益剰余金 (E=C-D)	197

剰余金の処分は、市議会での認定議決を受けて実行します。  
 当年度の利益は、企業債償還の財源に充てるため、減債積立金へ積立てます。

# 令和2年度に下水道事業で実施した主な取り組みについて

## ①施設の維持管理

《 下水道施設維持管理 》

処理場5施設及びマンホールポンプ場160箇所、管きよ797kmの適正な運転管理と施設の維持に取り組み水環境の保全に努めました。



管路自走式カメラ調査  
L=1,535m実施



管口カメラ調査  
398箇所実施 (調査区間L=2,549m)

●維持管理費 C=186,602千円

委託費:148,092千円 汚泥処分費:19,262千円 修繕費:19,248千円

## ③施設の適正な管理・長寿命化対策

《 ストックマネジメント計画の策定 》

老朽化施設の増大による改築需要に適切対応し、事故発生を未然防止するとともに、下水道施設の計画的な点検調査及び長寿命化を含めた対策を講ずるため下水道ストックマネジメント計画を策定しました。



ポンプ設備の劣化状況



改築実施計画  
(R3~R7)

- ・広域監視通報装置  
更新 132箇所
- ・マンホールポンプ設備  
更新 7箇所
- ・管きよ改築 L=41m

●業務委託費 C=12,100千円

## ②水洗化率の向上対策(広報)

《 新デザインマンホールふた『みずかがみ(水鏡)』 》

安曇野に雪形の常念坊が現れるこの時期、雪解け水を潤された田んぼが水鏡となって映しこまれる景色が生まれ、自然と人との共生を表現した安曇野の魅力発信に向けたデザインマンホールふたが完成しました。

JR豊科駅前・JR穂高駅前歩道上のマンホールふたを新デザインのふたに更新しました。



JR豊科駅前歩道上に設置されたカラーマンホールふた



●設置費 C=891千円

## ④流域下水道事業

《 建設負担金 》

長野県が施行する流域下水道建設改良事業の地元負担金を支出しました。  
(令和2年度 事業内容)  
ポンプ棟(処理場)耐震工事、汚泥処理棟耐震工事、ブロー棟耐震工事、濃縮棟耐震工事など



ポンプ棟耐震工事(鉄筋挿入状況)



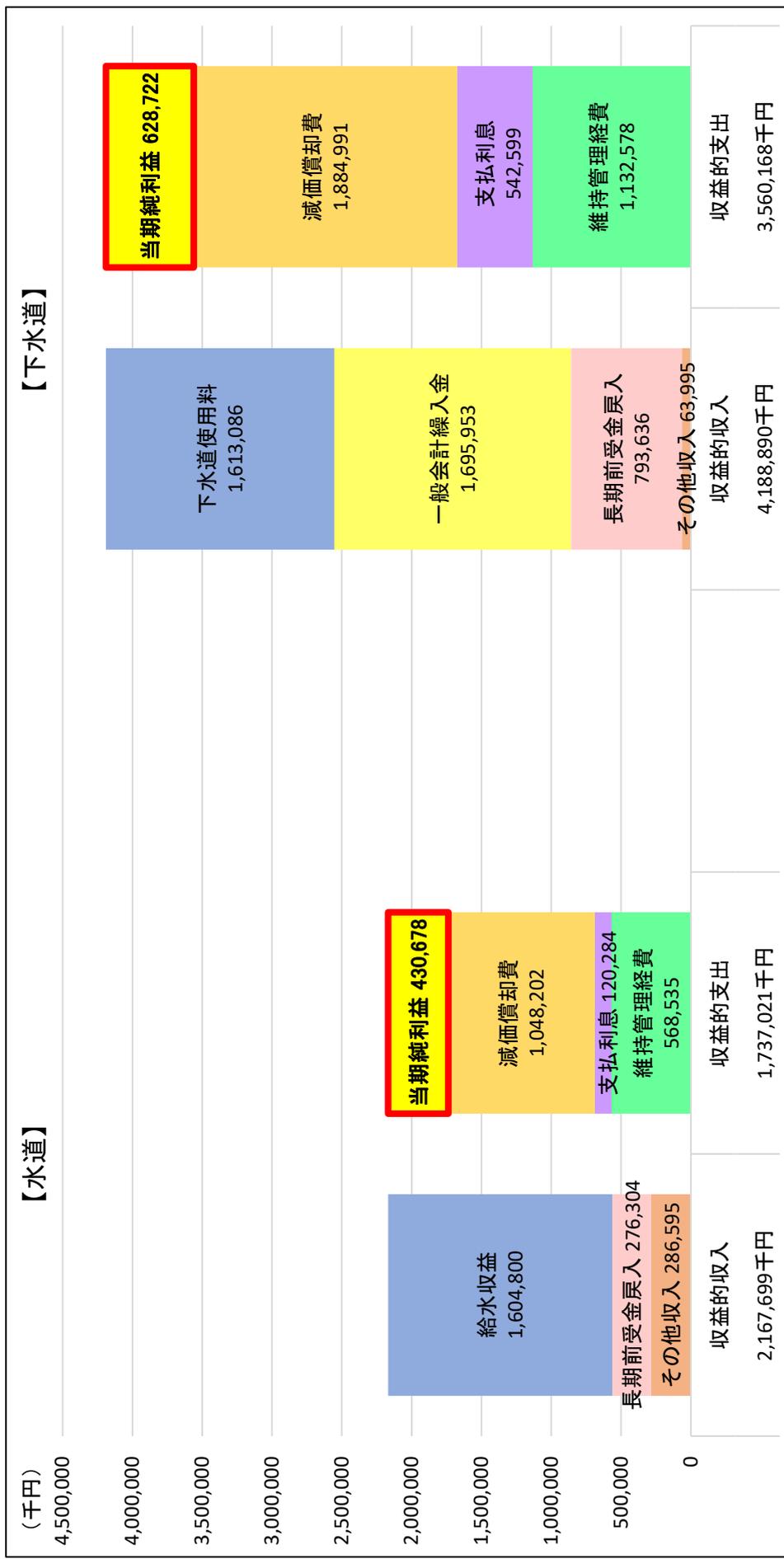
汚泥処理棟耐震工事(削孔状況)

●流域下水道事業費 C=121,970千円

### Ⅲ 水道事業・下水道事業の比較

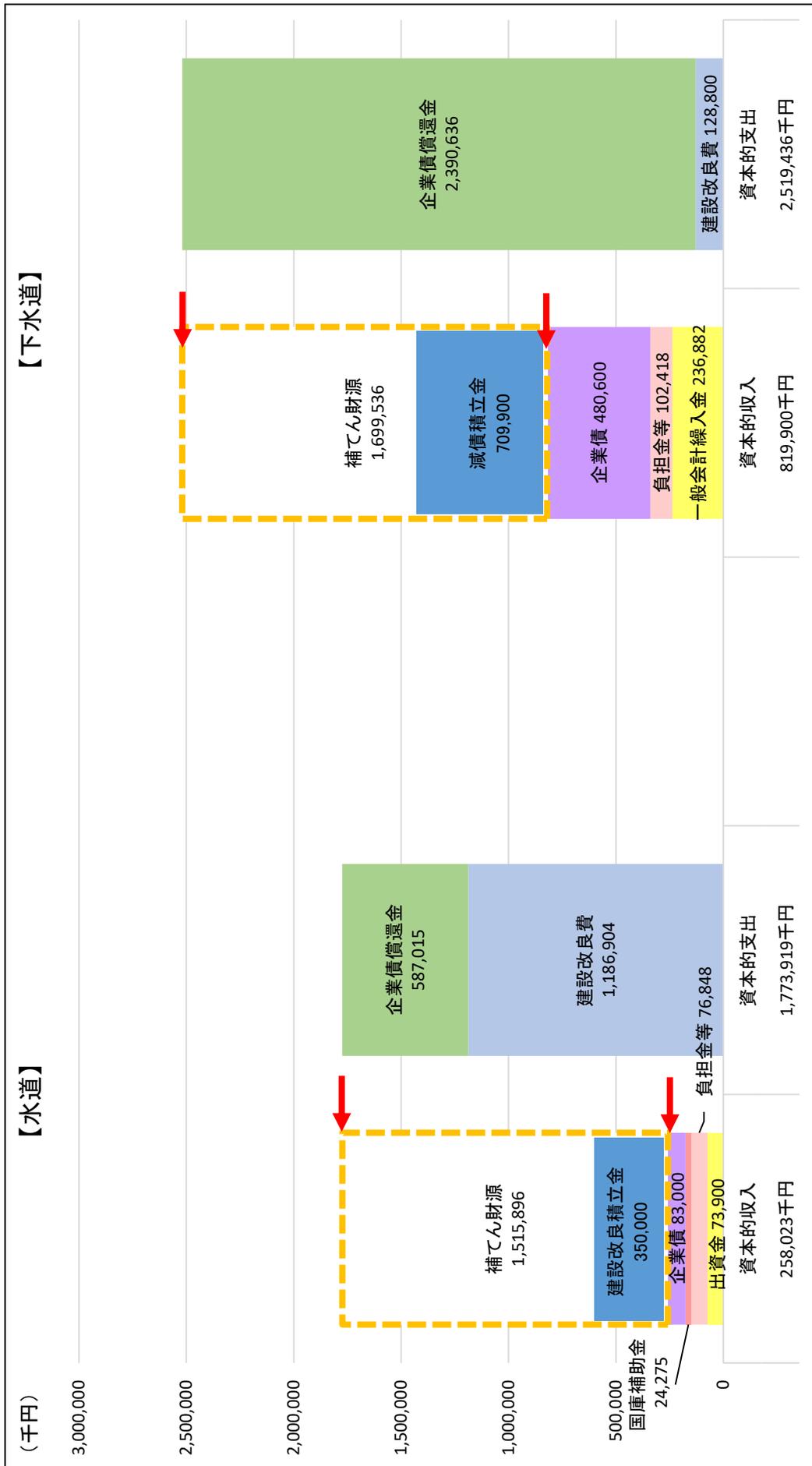
#### 1 収益的収支(損益計算書)

水道事業では、給水収益で費用のほとんどもを賄っていますが、下水道事業では、使用料収入だけでは費用全体の4割程度しか賄えていません。下水道事業の経営には、一般会計からの繰入金が必要であります。



## 2 資本的収支

2 事業とも施設の整備等に係る財源の不足が発生します。水道事業は、過年度及び当年度に発生した損益勘定留保資金（減価償却費等）や建設改良積立金などにより、不足分を補てんしています。同様に下水道事業も過年度及び当年度に発生した損益勘定留保資金や減価積立金などにより不足分を補てんしています。



### 3 貸借対照表

財政状態を比較すると、水道事業は資産、負債ともに下水道事業のおおよそ4割となり、事業規模の差がよく分かります。水道事業は主要管路布設替工事、下水道事業は流域下水道建設負担金の財源として企業債の借入れを行いながら、多額な償還も行っていきます。

